

# 金山駅周辺まちづくり構想



平成 29 年 3 月

名古屋市

## 目 次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1. 構想の趣旨 .....          | 1  |
| 2. 構想の対象範囲 .....        | 2  |
| 3. 金山の歴史 .....          | 3  |
| 4. 金山地域を取り巻く時代の潮流 ..... | 7  |
| 5. 各種計画等による位置づけ .....   | 13 |
| 6. 金山北地区整備計画の実施状況 ..... | 15 |
| 7. アンケート調査結果 .....      | 19 |
| 8. 課題 .....             | 25 |
| 9. コンセプト .....          | 35 |
| 10. 基本方針 .....          | 36 |
| 11. 土地利用構想 .....        | 53 |
| 12. 構想実現に向けて .....      | 63 |

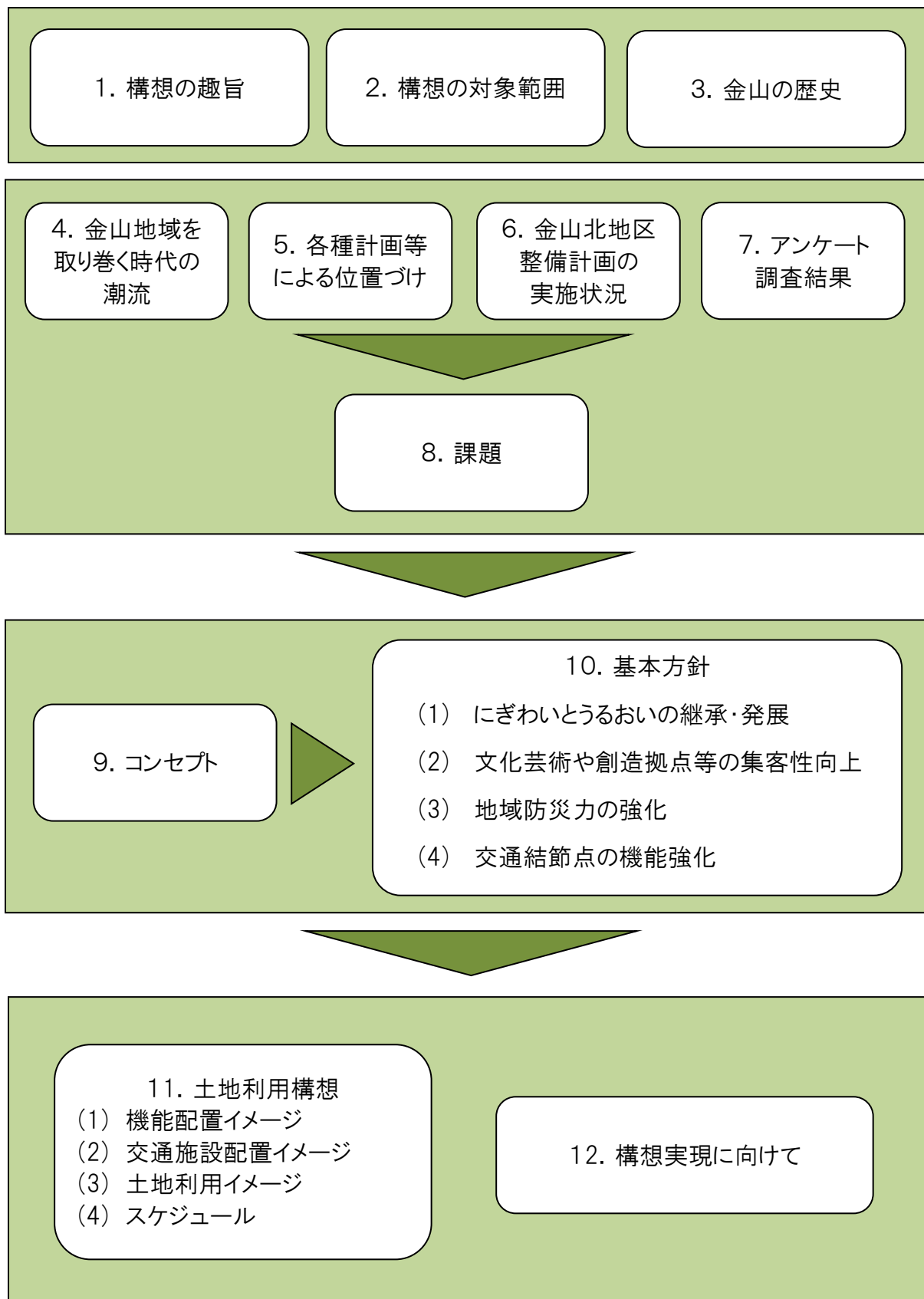
### 金山駅周辺まちづくり構想ロゴ



金山駅周辺まちづくり構想周知のためにロゴを作成しました。  
今後、構想の実現に向けた取り組みの中で使用していきます。

金山（KanaYama）の文字を、鉄道の路線図に見立てて表現しました。赤色の丸が金山総合駅、青色の丸が名古屋駅の位置を示しています。

## 構想の構成



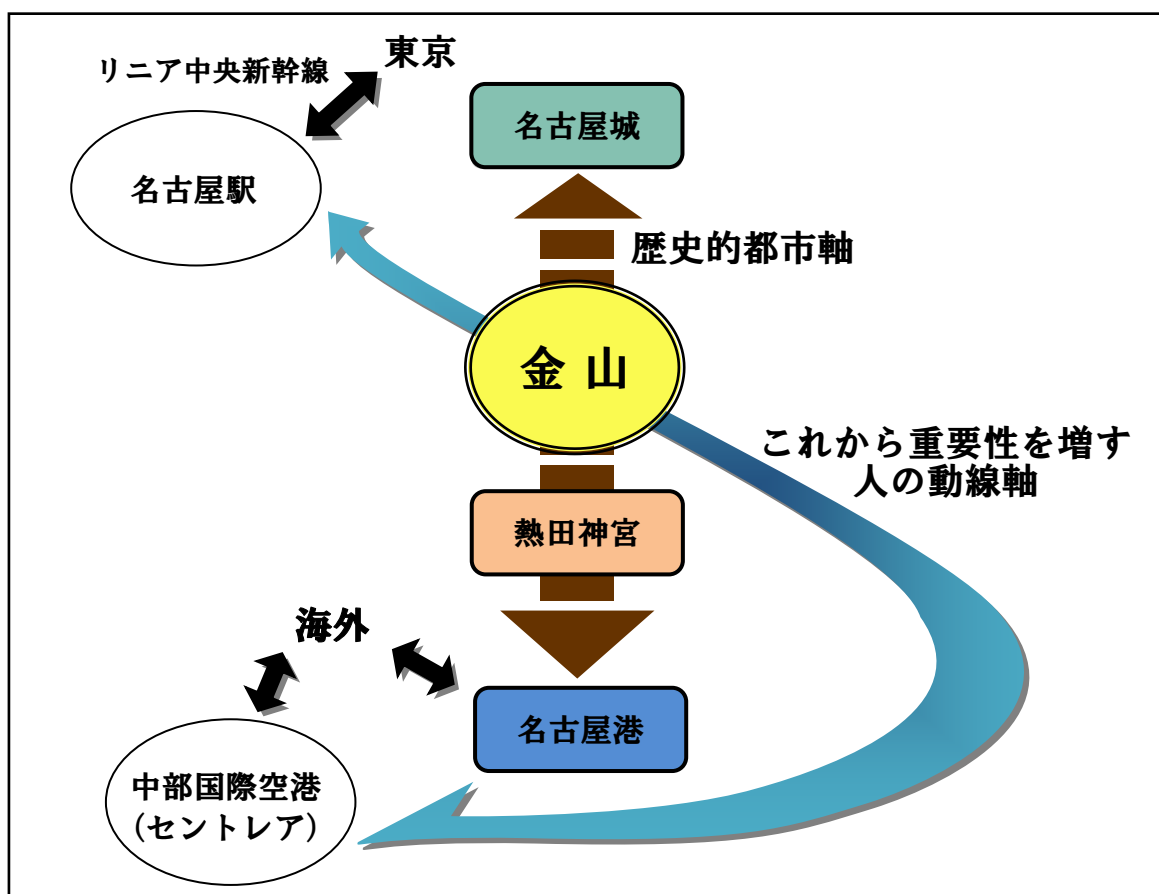
## 1. 構想の趣旨

金山では、2002（平成 14）年 3 月の金山北地区整備計画の策定から 10 年以上が経ち、これまで、アスナル金山の開発など、金山北地区を中心としたまちづくりが展開されてきました。それに伴い、人の流れや開発動向に変化が見られ、金山総合駅の一日の乗降客数が中部圏で名古屋駅に次いで 2 番目となっている一方で、防災面などの新たな課題も生まれてきています。

また、金山は名古屋開府から名古屋の発展を支えてきた名古屋城と熱田神宮を結ぶ歴史的な都市軸上に位置しており、まちの発展の一翼を担ってきました。一方、今後、国際化が進展する中で、海外との玄関口である中部国際空港（セントレア）と、2027（平成 39）年に開業を迎えるリニア中央新幹線の東京との玄関口となる名古屋駅とを結ぶこれからの人の動線軸上にも位置しており、この 2 つの軸のクロスポイントとなっている金山の位置づけは、今後、より高まり、都市機能の集積など新たな役割を果たすことが大いに期待されています。

加えて、金山には市民会館などの大規模な公共施設が整備されていますが、快適性や機能面で多くの課題を持った状況となっています。

そこで、これまでの経緯や現状を踏まえるとともに、今後の金山の新たな役割を見据え、概ね、東京オリンピックの開催及びリニア中央新幹線の東京～名古屋間の開通を目標とした新たなまちづくりの構想を策定するものです。



今後の開発が見込まれる市有地を中心に、これらの開発等の波及効果が及ぶと考えられる周辺を含めた範囲（約 41ha）を、この構想の対象範囲とします。なお、この範囲を当構想では「金山地域」と称します。



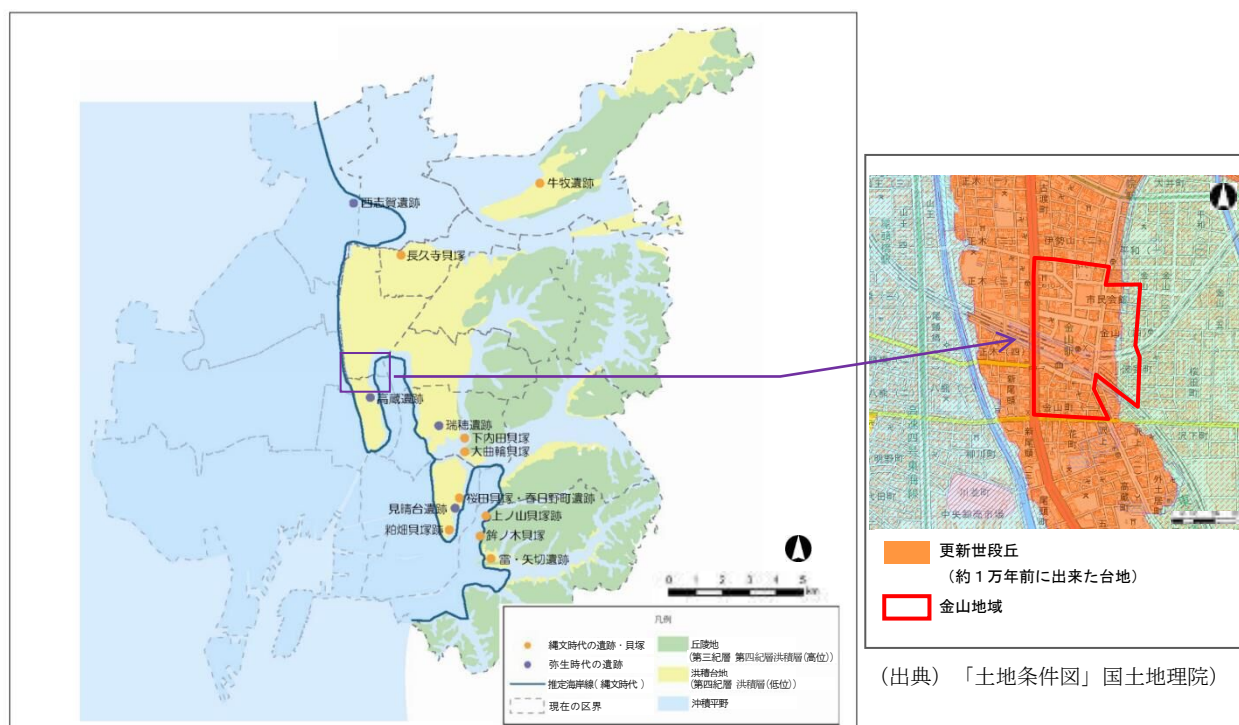
### 3. 金山の歴史

#### (1) まちの成り立ち

金山地域一帯は、1 万年以上前にできた台地（熱田台地）に位置しており、この安定した地盤の上に縄文・弥生時代の土器や集落跡、古墳時代の竪穴式住居や古墳群などの遺跡が多く発掘されています。集落は、弥生時代以降に形成・発展し、平安時代まで繁栄を保ち、古代なごやの中心地域となっていました。平安時代後半以降、金山地域の古代集落は急速に小さくなったようですが、鎌倉時代には付近を鎌倉街道が通り、集落が再び広がりました。

江戸時代に入り、1610 年の清須越によって名古屋が開府すると、名古屋城から続く本町通が金山地域を通して、熱田の町へ通じるとともに、1634 年には熱田宿と桑名宿を陸路で結ぶ佐屋街道が開設され、金山地域周辺は人の往来が盛んになり、町家の連なりや寺院などが造られました。

古代から大集落が形成されてきた金山地域は、海上交通を利用することができたこと、また名古屋城と熱田神宮などを結ぶ主要な通り沿いに位置したことにより、交通・交易の結節点として栄えてきました。



縄文時代の名古屋の推定海岸線

(出典) 名古屋歴史まちづくり戦略

## (2)鉄道基盤と共に発展してきたまち

近代に入ると、明治期に開通した東海道本線と中央本線の両路線が、金山地域を通過し、その分岐点となりました。更に、市内線（市電）が開業し、その後の延長の中で、1908（明治41）年に金山地域を通る熱田線が開業しました。金山付近にも停留所が2箇所設けられ、市電の開通とともに商店街が形成されはじめました。

また、戦時中には名古屋鉄道が、岐阜と豊橋方面の連絡のために、枇杷島～名古屋駅～神宮前間を開通させ、その中間駅として、現在の金山総合駅から南東約300mの位置に金山橋駅を開業しました。この駅の開業により、交通拠点としての重要性が高まり、郊外から市電への乗換え客など多くの人に利用される地域となりました。駅周辺には、地域の通勤通学者や乗換え客の立ち寄り先として、飲食や娯楽、サービス店などが出店し、商店街はより一層にぎわうようになりました。

戦後になると、復興計画の中で、金山は副都心として位置づけられ、1962（昭和37）年に中央本線金山駅、1965（昭和40）年に地下鉄金山駅が開業しましたが、駅が分散していたため不便な状態が続いていました。その後、市制100周年記念事業として開催決定された世界デザイン博覧会の集客拠点とするために、再び総合駅構想が具体化し、1989（平成元）年に、J R東海道本線の新駅設置、名鉄金山橋駅の移転、自由通路の整備、バスターミナルの一体化などにより総合駅が完成し、駅の利便性は飛躍的に高まりました。

しかし、自動車交通の発展、地下鉄整備によって市電は廃止され、また総合駅化によって周辺の人の流れが大きく変わったことにより、駅から離れた商店街は寂れていきました。



完成当時の中央本線金山駅ホーム

（名古屋レールアーカイブス提供）



地下鉄金山駅

（市営交通資料センター提供）

### (3)市民会館やボストン美術館等による文化拠点の形成

文化面では、1950（昭和 25）年に第 5 回国民体育大会（愛知国体）に向けて、現在の市民会館の位置に名古屋市金山体育館が建設され、国体ではバスケットボール会場として、その後もバレーボールやプロレスなどのスポーツ大会が多く開催されました。1958（昭和 33）年から 1964（昭和 39）年にかけては大相撲名古屋場所も開催されるとともに、演奏会やダンスといった文化行事も行われ、金山地域の一大娯楽拠点となり、にぎわいを生んでいました。

金山体育館は、1968（昭和 44）年に熱田区六野に開館した名古屋市体育館に役割を引き継ぎ、取り壊されましたが、跡地には、名古屋市の人口 200 万人突破を記念して、芸術文化の振興及び市民福祉の向上を目的に、1972（昭和 47）年に名古屋市民会館が新たに整備されました。大中 2 つのホールがあり、東海地方を代表するホールとして演奏会やコンサートなどに利用され、東海地区から多くの人々が訪れるようになりました。

また、1997（平成 9）年には市民会館北側に名古屋市音楽プラザが完成、1999（平成 11）年にはアメリカのボストン美術館の姉妹館として、金山南ビル内に名古屋ボストン美術館も開館しました。金山地域には複数の文化施設が集積し、文化・芸術の拠点としても成長してきました。



力道山 金山体育館での一戦

（名古屋タイムズ・アーカイブス委員会提供）



連日満員だった名古屋場所

（名古屋タイムズ・アーカイブス委員会提供）

#### (4)駅周辺整備とアスナル金山によるにぎわい形成

1988（昭和 63）年には、市営地下鉄名城線の環状化や中部国際空港の開港を控えて、金山総合駅の広域的な交通結節点としての拠点性の向上をめざし、地区総合整備地区に指定されました。

都市機能を集積させ、総合駅の北側に人々が集い交流の場として整備を進め、南側と一体的な交流空間の形成をはかるため、総合駅建設と並行して、駅南北の市有地活用が検討されました。その結果、1990（平成 2）年に金山駅前地区整備構想が策定され、駅の南北に駅前広場及び南ビル、北ビルを建設する方針が立てられました。

これに基づき、1999（平成 11）年に金山地域のランドマークとして駅の南側には金山南ビルと金山南広場が現在のように整備され、北側には、本格的な開発の前に地域のポテンシャルを向上させるため、暫定開発を行う方針が出され、2005（平成 17）年に開催される愛・地球博に合わせ、「アスナル金山」が開業しました。このアスナル金山は、商業施設に加え、野外ステージによるイベントなどを開催することで、鉄道利用者だけでなく若者や女性などの新たな客層の獲得にも成功し、広域的な交通拠点を活かし、地域のにぎわいをより一層高める役割を果たしています。



アスナル広場でのステージイベント

（出典）アスナル金山ホームページ

## 4. 金山地域を取り巻く時代の潮流

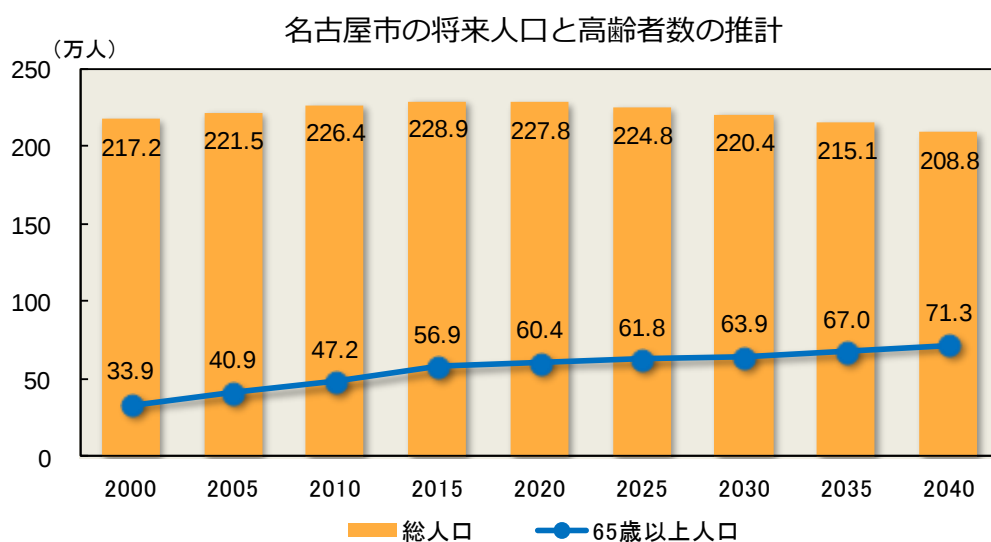
### (1) 少子化・高齢化

日本の総人口は減少局面を迎えるとともに、少子化・高齢化も進行しており、2060年には高齢化率が40%にも達すると見込まれています。

名古屋市でも高齢者人口の大幅な増加が見込まれ、65歳以上の高齢者人口は、2010（平成22）年に約47万人であったものが、2040（平成52）年には約71万人まで増加すると推計されています。

高齢者の増加にあわせて、自動車が利用できず、徒歩や公共交通での移動に頼らざるを得ない交通弱者の増加も懸念されます。そのため、自動車がなくても、徒歩と公共交通を中心とした歩いて暮らせるまちづくりの推進が求められています。

金山地域においては、公共交通の利用を推進するにあたって、市内の重要な交通結節点としての役割を踏まえたまちづくりが求められています。



（出典）2000～2010：国勢調査  
2015以降：国立社会保障・人口問題研究所

## (2)災害に対する不安の高まり

南海トラフを震源とする巨大地震の発生が懸念されており、今後 30 年間のマグニチュード 8 以上の地震の発生確率は 70%程度といわれ、名古屋市においても甚大な人的、物的、経済的被害が想定されています。また、近年では台風の大型化やゲリラ豪雨などの風水害の深刻化も懸念されています。

2011（平成 23）年 3 月の東日本大震災の発生以降、自然災害に対し市民の危機感が高まる中、災害に対応した安心・安全なまちづくりが求められています。

金山地域においては、大規模地震や大雨の災害が発生した場合には、来街者や地域住民に加え、多数の鉄道利用者への被害、更に鉄道をはじめ交通網へも大きな影響が生じることも想定されます。そのため、帰宅困難者対策などの防災面の強化を踏まえたまちづくりが求められています。

### 金山駅周辺の今後のまちづくりに向けたアンケート調査結果

「地震などの災害に対して安全なまち」が 2 番目に多くっており、災害に対する意識が非常に高いことがわかりました。

金山地域のまちの将来像として望ましいと思うものはどれですか。（3 つまで○）

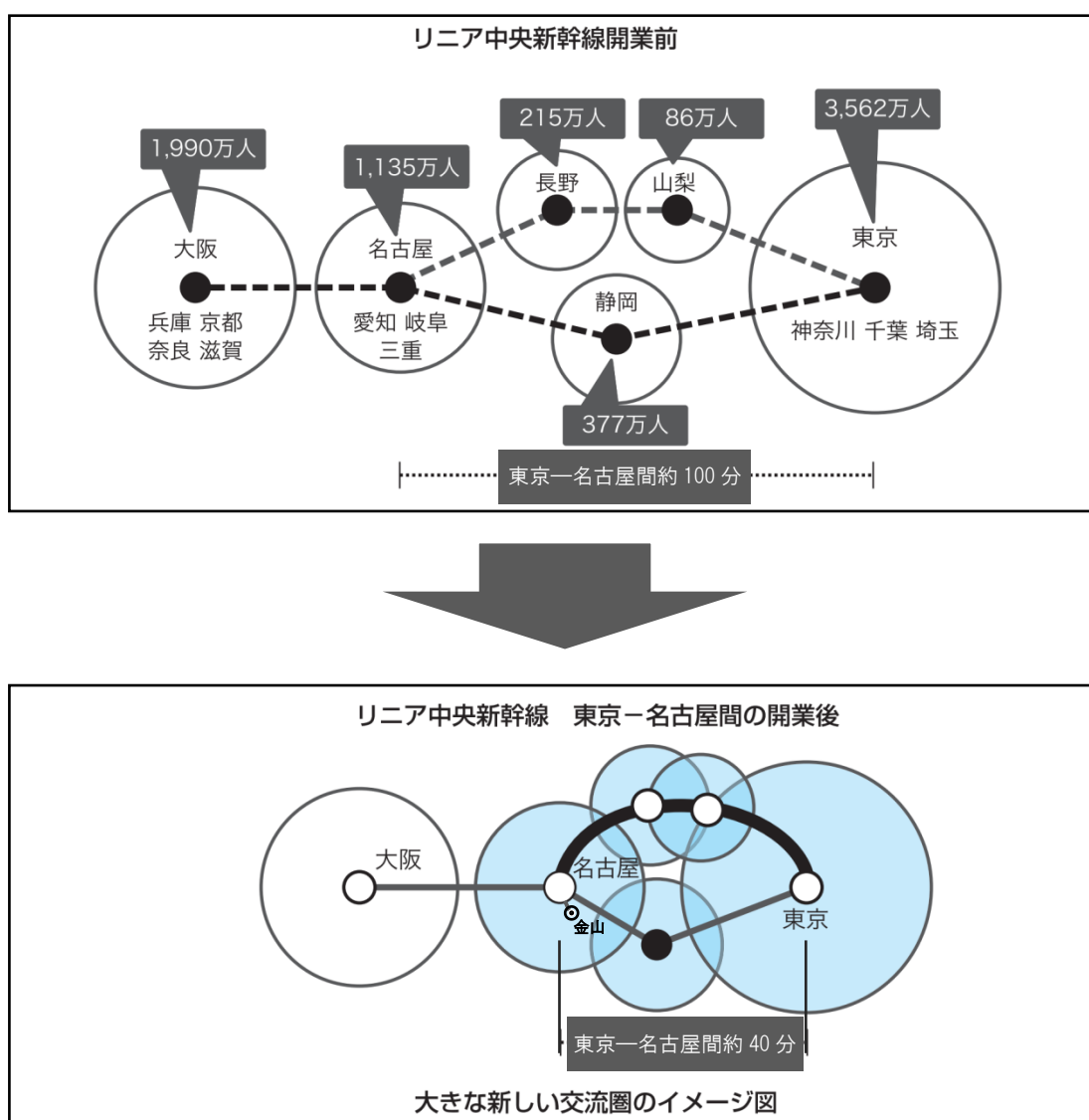


### (3)リニア中央新幹線の開業

建設がはじまったリニア中央新幹線は、2027（平成 39）年に東京～名古屋間が、2045（平成 57）年には名古屋～大阪間の開業が予定されています。これにより、現在新幹線により約 100 分で結ばれている東京～名古屋間は、約 40 分で結ばれることになり、都市間の移動時間が大幅に短縮されます。このようなことから、首都圏の約 3,500 万人とあわせて、新たな大交流圏が形成されることになり、首都圏とのつながりが深まる期待感がある一方で、経済規模の大きい首都圏に経済活動や人口などが吸い取られるストロー現象も懸念されています。

名古屋市内では、特にリニア中央新幹線の駅となる名古屋駅周辺において、再開発や建替えなどが活発に進められています。

金山地域においては、名古屋駅や中部国際空港へのアクセスが非常に便利であり、リニア中央新幹線開業による効果が大いに期待されているため、新たな大交流時代での可能性を見据えたまちづくりが求められています。

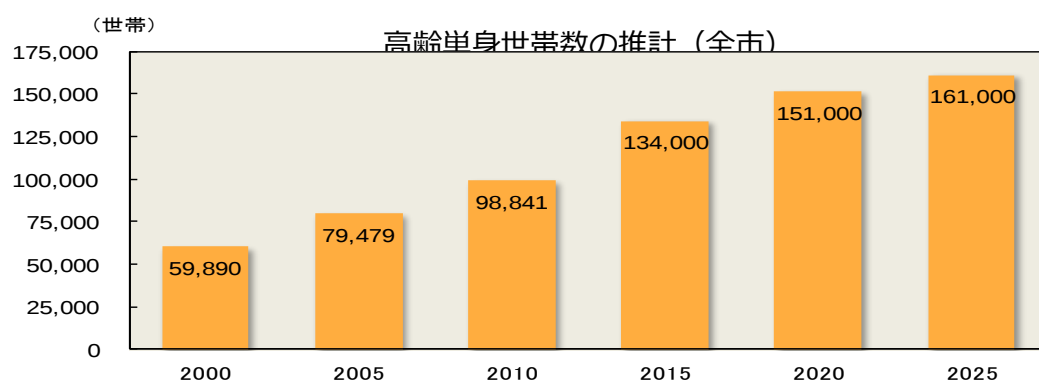


(出典) リニア中央新幹線建設促進期成同盟会資料に一部加筆

## (4)価値観・ライフスタイルの多様化

名古屋市では、単身世帯の増加などにより、世帯数の増加傾向は今後も続くと予測されています。特に高齢化の進展により、2010（平成 22）年に 9.9 万世帯ある 65 歳以上の高齢単身世帯が、2025（平成 37）年には約 16 万世帯と大幅に増加すると推計されています。このような中、家族や世帯のあり方、人と人とのつながりが変化し、それに伴い、価値観やライフスタイルが多様化してきています。

金山地域においては、市民会館を中心とした文化活動や、交通結節点機能を活かした趣味教養教室など、多様化するニーズに対応した多彩な形態によるまちづくりが求められています。



（出典）2000～2010：国勢調査

2015以降：名古屋市総合計画2018における人口推計（上位推計と下位推計の平均値）

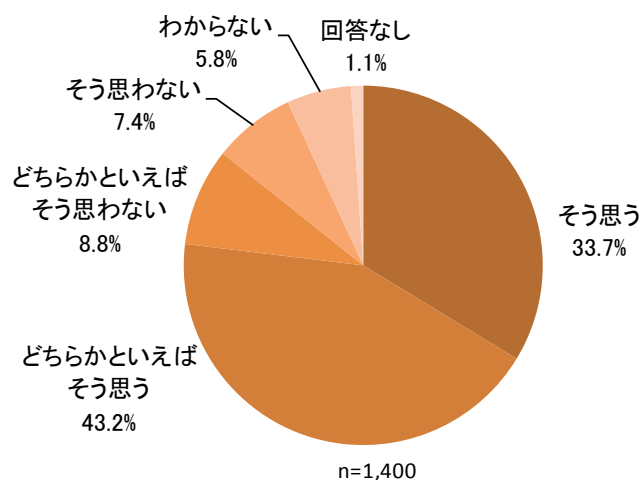
（出典）2000～2010：国勢調査

2015以降：名古屋市総合計画 2018 における人口推計（上位推計と下位推計の平均値）

### 人と人とのつながりの変化

地域の人々のつながりやまとまりが薄れてきていると思う又はどちらかといえ  
ばそう思う人は全体の約 4 分の 3 となっています。

（設問「あなたは、地域の人々のつながりやまとまりが薄れてきていると思いますか。」）

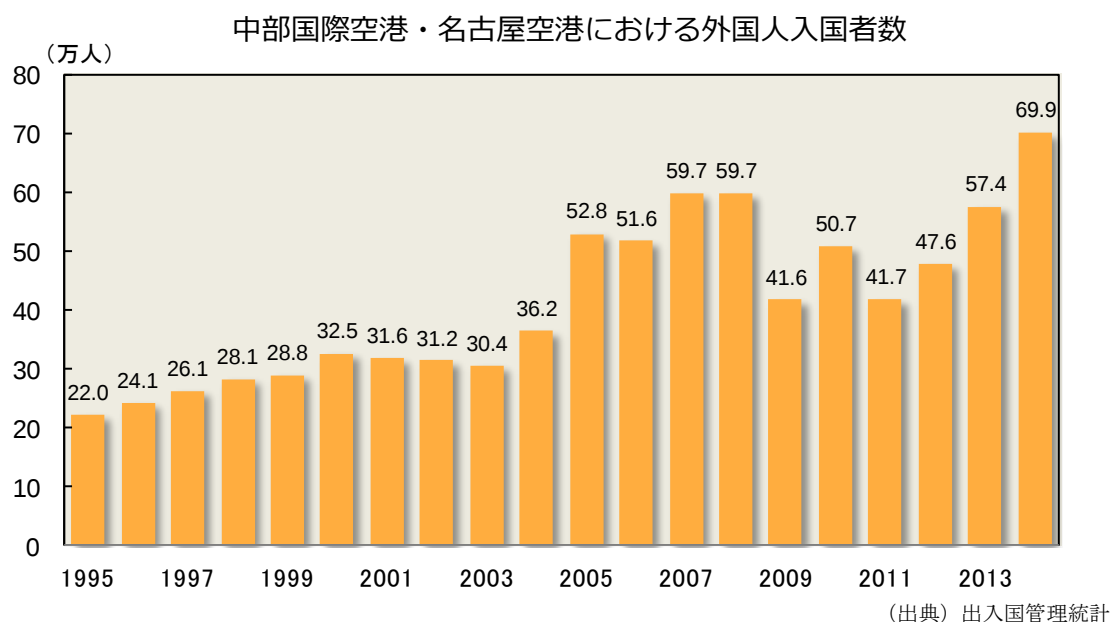


（出典）地域コミュニティ活性化に関する調査報告書（H27. 3、名古屋市）

## (5)グローバル化の進展

国や地域の境界を越えて、地球規模で人、物、資金や情報の移動が拡大し、相互依存が深まるグローバル化が進展する中、都市間の競争も激化しています。特に、移動時間の短縮や経済のグローバル化により、ビジネス、観光などあらゆる分野において、国際交流人口が増加しています。2005年に中部国際空港が開港し、外国人入国者数は大幅に増え、その後も増加傾向にあります。2014年の外国人入国者数は年間約70万人に上り、今後も増加することが予想されます。

金山地域においては、空の玄関口である中部国際空港との結びつきが強く、国際会議場も周辺に位置するなど、国内外の多様な交流に対応したグローバルMICE<sup>(※)</sup>の玄関口としてのまちづくりが求められています。



### (※)MICE

企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

(出典) 国土交通省観光庁ホームページ

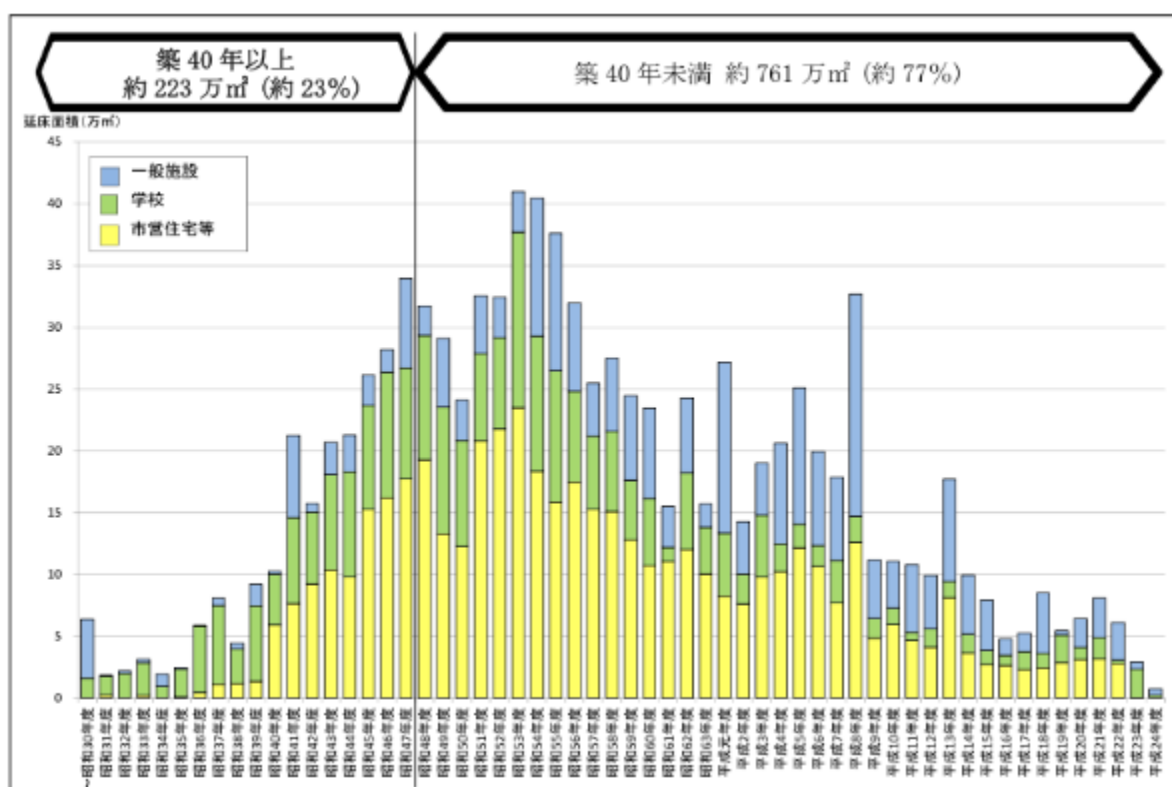
## (6)公共施設の老朽化

我が国では、高度経済成長期において、急速な人口増加や市街地拡大にあわせて、様々な公共施設が集中的に整備されてきたため、今後それらの公共施設が急速に老朽化することが懸念されています。

名古屋市においても、全国同様に昭和 40～60 年代に多くの公共施設が建設されてきたため、老朽化が進行し、施設の更新が必要な施設も数多くあり、その対応が課題となっています。

金山地域においては、今後、快適性や機能面が課題となりつつある市民会館などの機能更新が想定されるため、これらの更新を踏まえたまちづくりが求められています。

公共施設の建設年代別延床面積



(注) 100㎡未満の建物を除く。

(出典) 名古屋市公共施設白書 (数値は平成 26 年 3 月時点)

## 5. 各種計画等による位置づけ

### (1) 名古屋市都市計画マスタープラン〔2011.12 策定、2011～2020 年〕

名古屋市がめざすべき都市構造は「集約連携型都市構造」とされ、その中で金山地域は戦略的まちづくりを進めるための「重点地域」の1つに位置づけられ、積極的にまちづくりを進める地域となっています。

#### 拠点機能・拠点間連携の強化や緑・水との調和による都市の持続性の向上

##### ● 広域後背圏を有する既存拠点の再生

都市力・都市魅力を強化するために、広域後背圏を有する都心域周辺の交通結節点において、回遊性向上・にぎわい創出をはかり既存拠点を再生することにより、後背圏との一体性と市街地のメリハリを確保します。

都市機能や魅力施設等の更なる集積をはかります。

- 建物の更新にあわせた壁面後退※や公開空地の創出により、憩いの空間の確保をめざします。
- 金山地区と熱田や白鳥、堀川沿岸など周辺地域との連携を強化し、回遊性の向上をはかるなど、面的に広がりのある魅力的な拠点形成をめざします。



■金山駅周辺

(出典) 名古屋市都市計画マスタープラン

### (2) 名古屋市総合計画2018〔2014.10 策定、2014～2018 年〕

「公共交通を中心とした歩いて暮らせるまちづくりをすすめます」の施策を推進する事業として、「金山地区におけるまちづくりの推進」、「金山総合駅連絡橋の管理」が位置づけられています。

### (3) 名古屋市震災対策実施計画〔2014.10 策定、2014～2018 年〕

「公共土木施設の耐震化推進」の施策項目の中で、「金山総合駅連絡通路橋の耐震対策」が位置づけられています。

#### (4)指定緊急避難場所（広域避難場所）〔2017.3 指定〕

主に地震火災が延焼拡大した場合に、周辺地域からの避難者を収容し、避難者の生命を保護するために、必要な面積を有する公園や緑地等が指定緊急避難場所（広域避難場所）として、市内では107箇所、約1,600万㎡が指定されています。

金山地域に近い場所では、「葉場公園」が広域避難場所に指定されています。

##### ※広域避難場所の主な基準

- ・ 総面積 10,000 ㎡以上の公園、緑地、グラウンド（校庭を含む。） 、公共空地帯で大火輻射熱に対しての安全面積が 2,000 ㎡以上のものとする。



市内の広域避難場所

## 6. 金山北地区整備計画の実施状況

### (1)これまでの金山地域におけるまちづくり

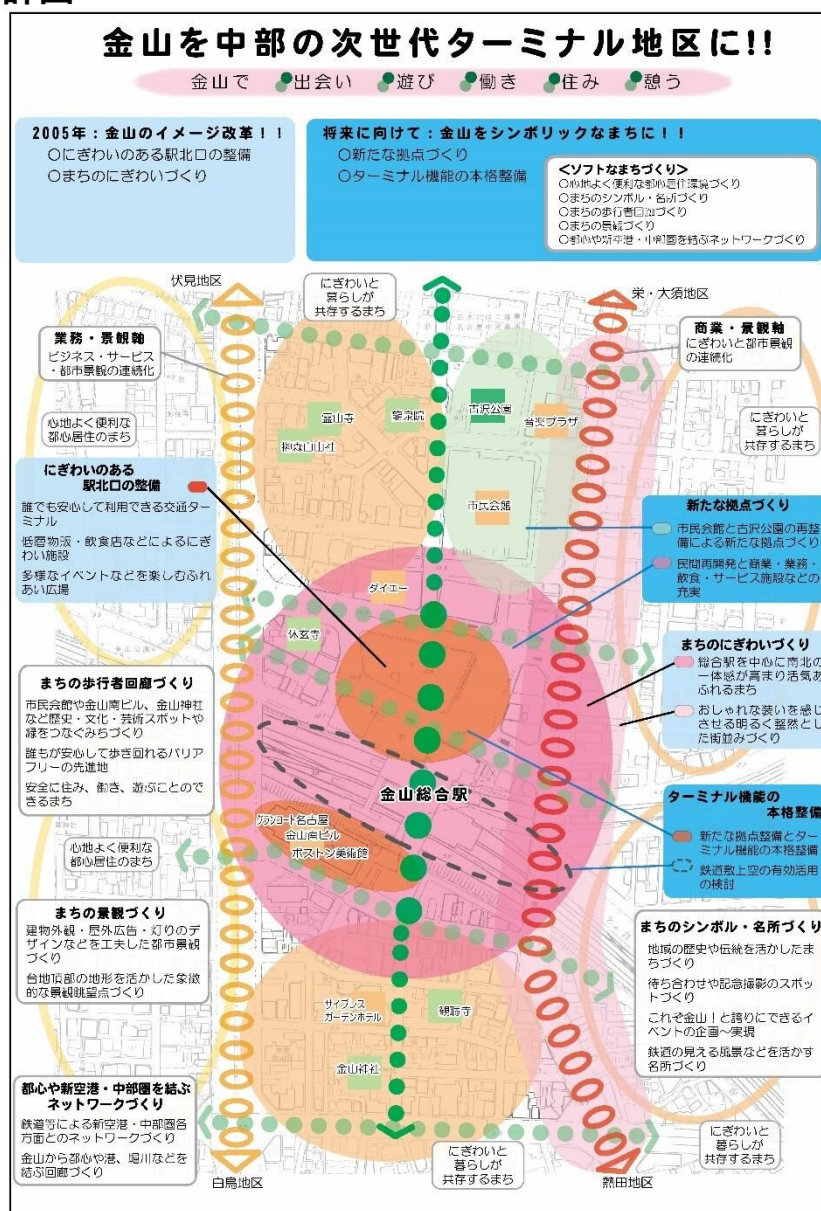
これまでの金山地域のまちづくりは、2002（平成14）年3月に策定された金山北地区整備計画に基づきまちづくりが進められてきました。これまでの取り組みや現時点での実施状況を評価し、今後の対応を明確にしていきます。

### (2)金山北地区整備計画〔2002.3 修正〕

#### ① 位置づけ

金山北地区整備計画は、2005（平成17）年の中部国際空港の開港、愛・地球博の開催を前に、交通結節点としての重要性が高まりつつある金山地区において、1999（平成11）年に開発された金山南ビルのある駅前南地区と一体となった交流空間を形成し、名古屋市市の南の玄関口としてふさわしい地区にするために策定した計画です。

#### ② 将来計画



### ③ 取り組み

|                                                    | 取り組み                                                                                                                     |
|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第 1 ステップ</b><br>金山のイメージ<br>改革！！<br>（2005 年）     | <b>◆にぎわいの顔づくりと地域の一体化を</b>                                                                                                |
|                                                    | ・にぎわいのある駅北口の整備<br>誰でも安心して利用できる交通ターミナル（バスターミナル、駐車場、駐輪場、タクシー乗り場等）                                                          |
|                                                    | 低層物販・飲食店などによるにぎわい施設（待合せ、買い物、飲食ができる広場）                                                                                    |
|                                                    | 多様なイベントなどを楽しむふれあい広場（パフォーマンス、街角コンサート等）                                                                                    |
|                                                    | ・まちのにぎわいづくり<br>総合駅を中心に南北の一体感が高まり活気あふれるまち<br>おしゃれな装いを感じさせる明るく整然とした街並みづくり                                                  |
|                                                    | <b>◆金山ブランドをつくる</b>                                                                                                       |
|                                                    | ・新たな拠点づくり<br>市民会館と古沢公園の再整備による新たな拠点づくり<br>民間再開発と商業・業務・飲食・サービス施設などの充実                                                      |
| <b>第 2 ステップ</b><br>金山をシンボリック<br>なまちに！！<br>（将来に向けて） | ・ターミナル機能の本格整備<br>新たな拠点整備とターミナル機能の本格整備<br>鉄道敷上空の有効活用の検討                                                                   |
|                                                    | <b>&lt;ソフトなまちづくり&gt;</b>                                                                                                 |
|                                                    | ・心地よく便利な都心居住環境づくり<br>身近なにぎわいを活かした職住近接のまち<br>子育てから高齢者福祉までコミュニティ施設が充実するまち<br>商店街など身近な商業とともにまちの活力を高める居住地                    |
|                                                    | ・まちのシンボル・名所づくり<br>歴史や伝統を活かしたまちづくり<br>待ち合わせや記念撮影のスポットづくり（地域縁のモニュメント・銅像等）<br>これぞ金山！と誇りにできるイベントの企画～実施<br>鉄道の見える風景等を活かす名所づくり |
|                                                    | ・まちの歩行者回廊づくり<br>市民会館や金山南ビル、金山神社など歴史・文化・芸術スポットや緑をつなぐみちづくり<br>誰もが安心して歩き回れるバリアフリーの先進地<br>安全に住み、働き、遊ぶことができるまち                |
|                                                    | ・まちの景観づくり<br>建物外観・屋外広告・灯りのデザインなどを工夫した都市景観づくり<br>台地頂部の地形を活かした象徴的な景観眺望点づくり                                                 |
|                                                    | ・都心や新空港・中部圏を結ぶネットワークづくり<br>鉄道等による新空港、中部圏方面とのネットワークづくり<br>金山から都心や港、堀川などを結ぶ回廊づくり                                           |

### (3)評価

第1ステップについては、駅北口の整備として、交通ターミナル（バスターミナル、駐車場、自転車駐車場、タクシー乗り場）が整備されるとともに、アスナル金山が開業しました。これにより駅の利便性が向上するとともに、物販・飲食店が充実し、アスナル広場でのイベントなども開催されるようになり、駅利用者をはじめ、大勢の人でにぎわう駅北口が形成されました。まちのにぎわいづくりに関しても、駅北側でアスナル金山が開業、駅南口でも飲食店等が充実しはじめ、金山総合駅連絡通路橋を通じて人々の行き来が増すことで南北の一体感が高まりを見せており、一定の効果は出てきました。しかし、街並みの点では、アスナル金山の整備に続く取り組みがなく、今後の開発などによる街並み形成が求められています。

第2ステップについては、ダイエー金山店（現イオン金山店）等の民間再開発が行われましたが、市民会館と古沢公園の再整備による新たな拠点づくりといったハード整備の進捗はほとんど見られませんでした。心地よく便利な都心居住環境づくりとしては、民間の高層住宅が整備される等の進捗が見られます。まちのシンボル・名所づくりとしては、商店街などによるイベントが実施されており、一定の効果が出ています。まちの歩行者回廊づくりとしては、金山駅地区バリアフリー基本構想の策定などの取り組みが行われています。まちの景観づくりとしては、民間ビルの外観改修等が実施されました。都心や新空港・中部圏を結ぶネットワークづくりとしては、名古屋鉄道によるネットワークが形成されています。



2003（平成15）年



2007（平成19）年

（出典）国土地理院撮影の空中写真

取り組みの実施状況

|                                                 | 取り組み                      | 評価                                                                                                                              |
|-------------------------------------------------|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>第 1 ステップ</div> 金山のイメージ改革！！<br>(2005 年)     | ◆にぎわいの顔づくりと地域の一体化を        |                                                                                                                                 |
|                                                 | ・にぎわいのある駅北口の整備            |                                                                                                                                 |
|                                                 | 誰でも安心して利用できる交通ターミナル       | 駅北口には、新たにバスターミナルやタクシーベイ等が整備され、交通処理が円滑になるとともに、アスナル金山の開業により、にぎわい施設が一定程度集積し、ステージでは多様なイベントが開催されるようになりました。                           |
|                                                 | 低層物販・飲食店などによるにぎわい施設       |                                                                                                                                 |
|                                                 | 多様なイベントなどを楽しむふれあい広場       |                                                                                                                                 |
|                                                 | ・まちなにぎわいづくり               |                                                                                                                                 |
|                                                 | 総合駅を中心に南北の一体感が高まり活気あふれるまち | 駅北口にアスナル金山が開業し、駅南口の金山南ビルとともに、総合駅を中心に活気やおしゃれな装いを感じることができる街並みが整備され、金山のイメージ改革を一定程度はかることができました。今後は、更なるにぎわいづくりが求められています。             |
| おしゃれな装いを感じさせる明るく整然とした街並みづくり                     |                           |                                                                                                                                 |
| <div>第 2 ステップ</div> 金山をシンボリックなまちに！！<br>(将来に向けて) | ◆金山ブランドをつくる               |                                                                                                                                 |
|                                                 | 新たな拠点づくり                  | アスナル金山の開業に引き続き、ダイエー金山店(現イオン金山店)の建替え、μ P l a t (名鉄)の整備、長谷川ビルの改装が実施され、金山地域の拠点性が増加しましたが、市民会館や古沢公園の再整備については、手つかずの状況が続いています。         |
|                                                 | ターミナル機能の本格整備              |                                                                                                                                 |
|                                                 | ＜ソフトなまちづくり＞               |                                                                                                                                 |
|                                                 | 心地よく便利な都心居住環境づくり          | アルバックスタワーの整備など住宅地としての新たな需要が高まる中、商店街によるイベント等の実施によりにぎわいが増加しました。今後は、金山をよりシンボリックなまちにするため、地域内の歩行者の回遊性や都心・セントレアを意識したネットワークづくりが求められます。 |
|                                                 | まちのシンボル・名所づくり             |                                                                                                                                 |
|                                                 | まちの歩行者回廊づくり               |                                                                                                                                 |
|                                                 | まちの景観づくり                  |                                                                                                                                 |
|                                                 | 都心や新空港・中部圏を結ぶネットワークづくり    |                                                                                                                                 |

#### (4)今後の対応

今後は、新たな拠点づくりの中の市民会館、古沢公園の再整備による新たなまちづくりを、改めて進めていく必要があります。

また、まちの歩行者回廊づくりなども、引き続き進めていく必要があります。

## 7. アンケート調査結果

現在の金山地域の利用状況や評価・課題、将来へのニーズ等を把握するために、駅利用者や居住者、事業者、地権者、外国人といった金山地域に関係する幅広い層を対象に、アンケート調査を実施しました。

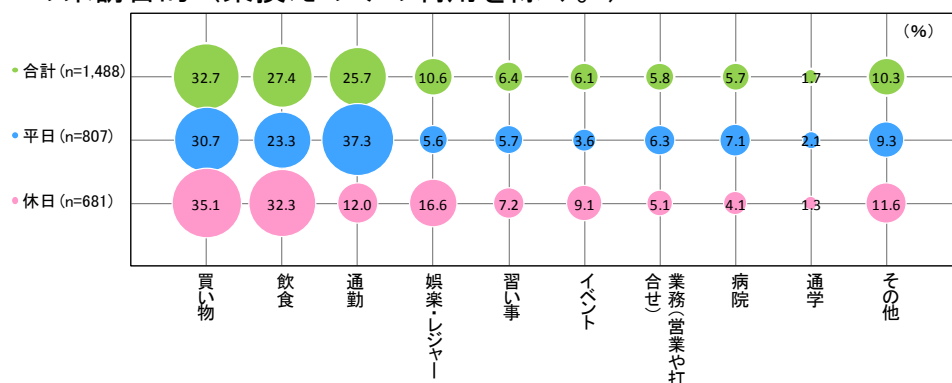
| 対 象   | 駅利用者               | 地域内居住者・事業者         | 地域外地権者         | 合計       | 外国人                             |
|-------|--------------------|--------------------|----------------|----------|---------------------------------|
| 調査手法  | 配布:駅での手渡し<br>回収:郵送 | 配布:ポスティング<br>回収:郵送 | 配布:郵送<br>回収:郵送 | —        | 聞き取り<br>(駅連絡通路内)                |
| 実施時期  | 2015(平成27)年9月      |                    |                | —        | 2015(平成27)年10月<br>2016(平成28)年7月 |
| 配布数   | 10,511 件           | 2,806 件            | 291 件          | 13,608 件 | —                               |
| 有効回収数 | 2,499 件            | 432 件              | 87 件           | 3,018 件  | 236 件                           |
| 有効回収率 | 23.8%              | 15.4%              | 29.9%          | 22.2%    | —                               |

### (1)駅利用者の行動

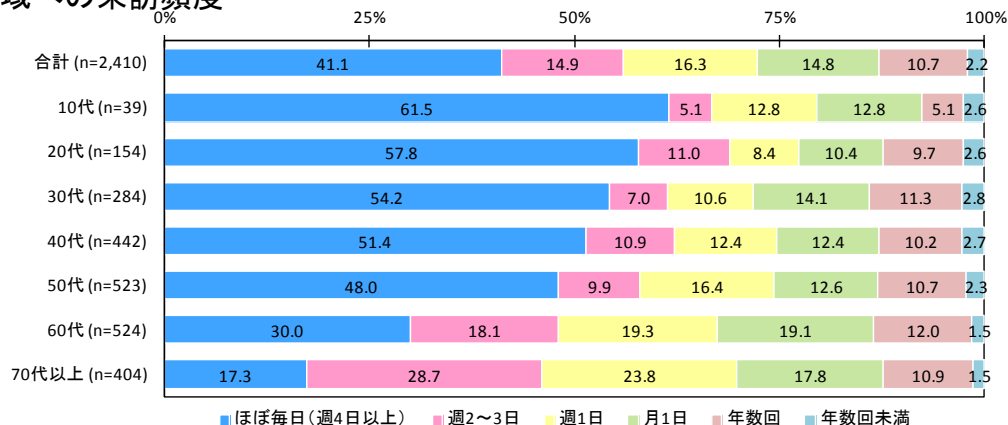
平日、休日ともに買い物、飲食利用が多く、休日はイベント目的での来訪も目立ちます。特に、若者の方が来訪頻度が高く、若者の利用が多い地域といえます。今後は、金山地域の特長と考えられる商業やイベントにより、若者によるにぎわいを継続していくことが重要と考えられます。

一方、よく利用される施設や経路は駅直近の街区に集中し、来街者の行動範囲は固定化しているといえます。

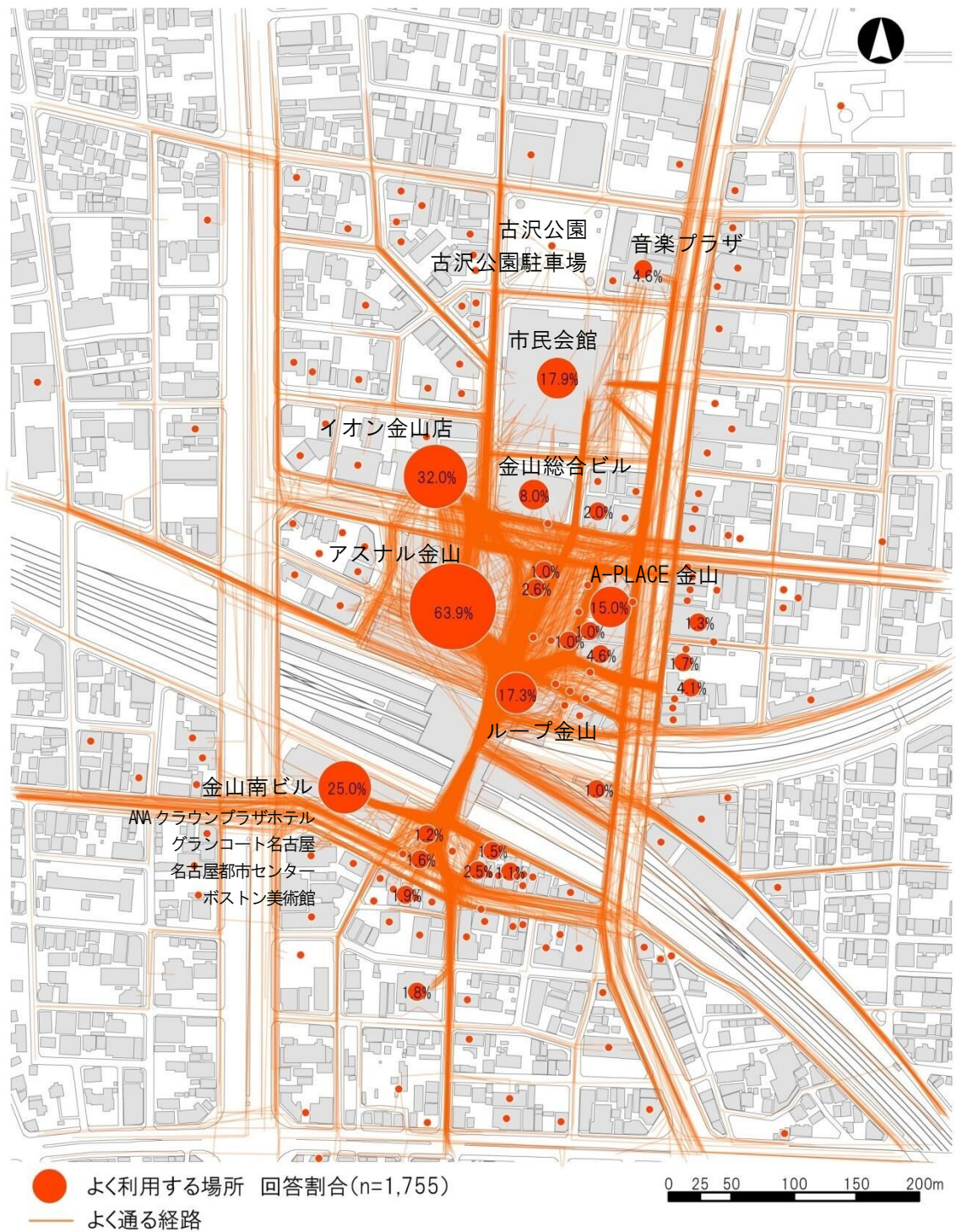
#### ①金山地域への来訪目的（乗換えのみの利用を除く。）



#### ②金山地域への来訪頻度



### ③金山地域でよく利用する施設・場所、よく通る経路

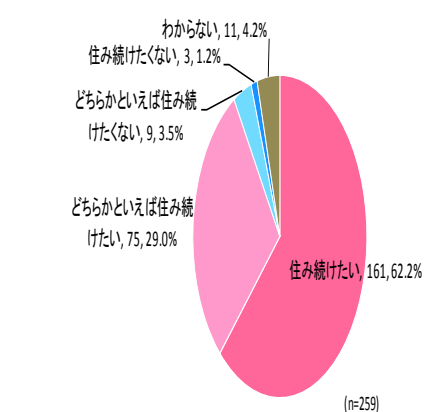


※一部施設名を加筆

## (2)定住・事業継続の意向

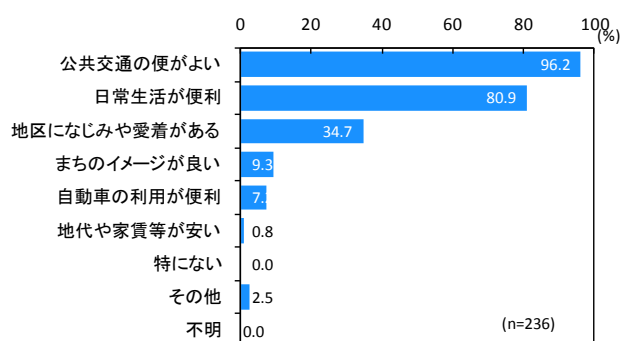
交通結節点という利便性や人の多さが大きなメリットとなり、金山地域での定住意向及び事業継続意向は、非常に高くなっています。金山地域は、駅に近接した居住地やビジネス拠点としてのポテンシャルは高いと考えられます。

### ①定住意向

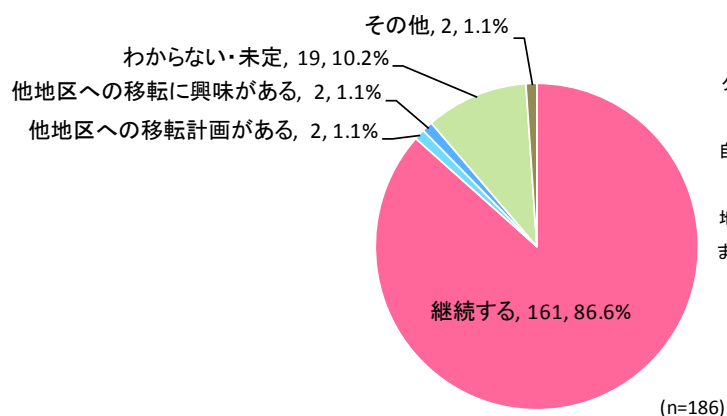


住みたい・どちらかといえば住みたい  
計 91.2%

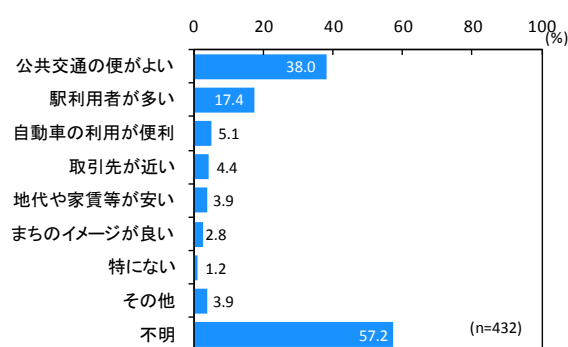
### 住み続けたい理由



### ②事業継続意向



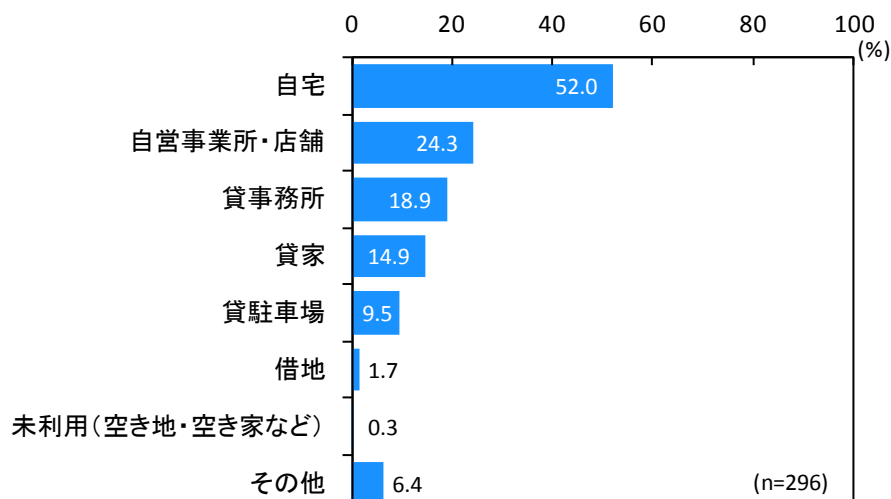
### 事業継続する理由



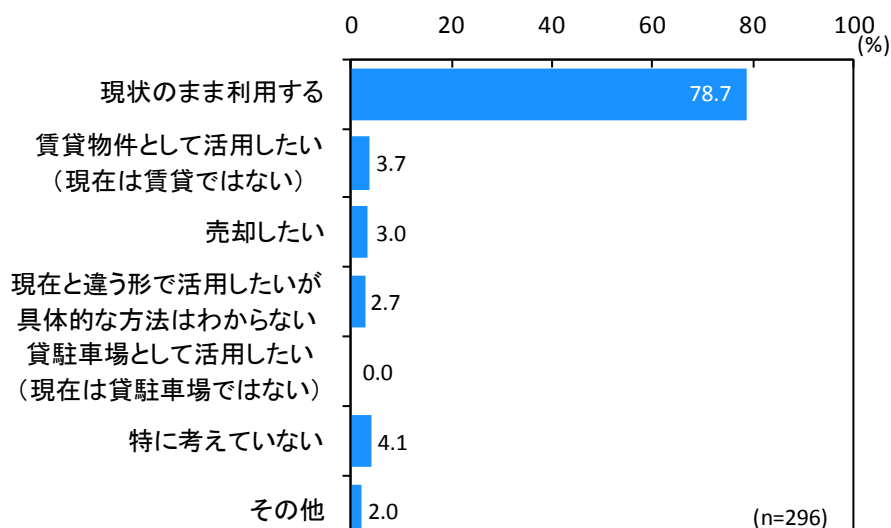
### (3)不動産活用の意向

未利用地は非常に少なく、ほとんどが活用されている状況です。不動産の所有状況は自宅、自営事業所・店舗が多くなっており、今後については、そのまま継続活用していく意向が非常に高くなっています。

#### ①不動産の所有状況

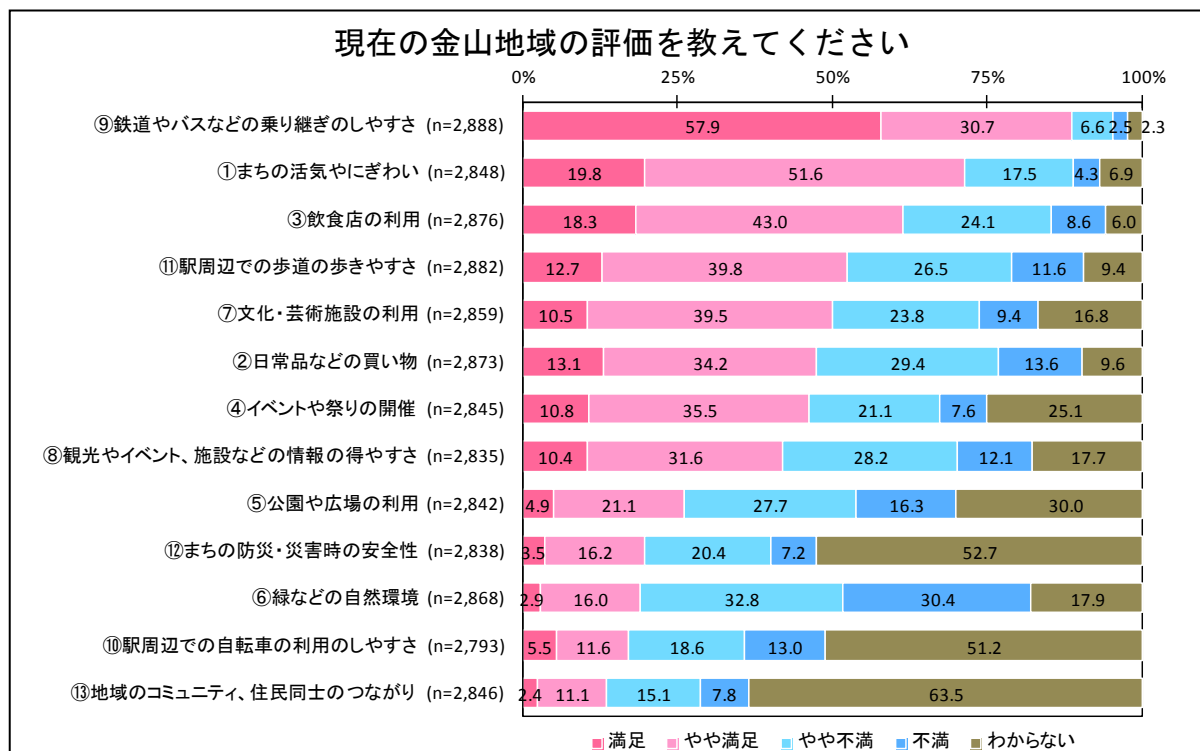


#### ②所有不動産の今後の活用意向



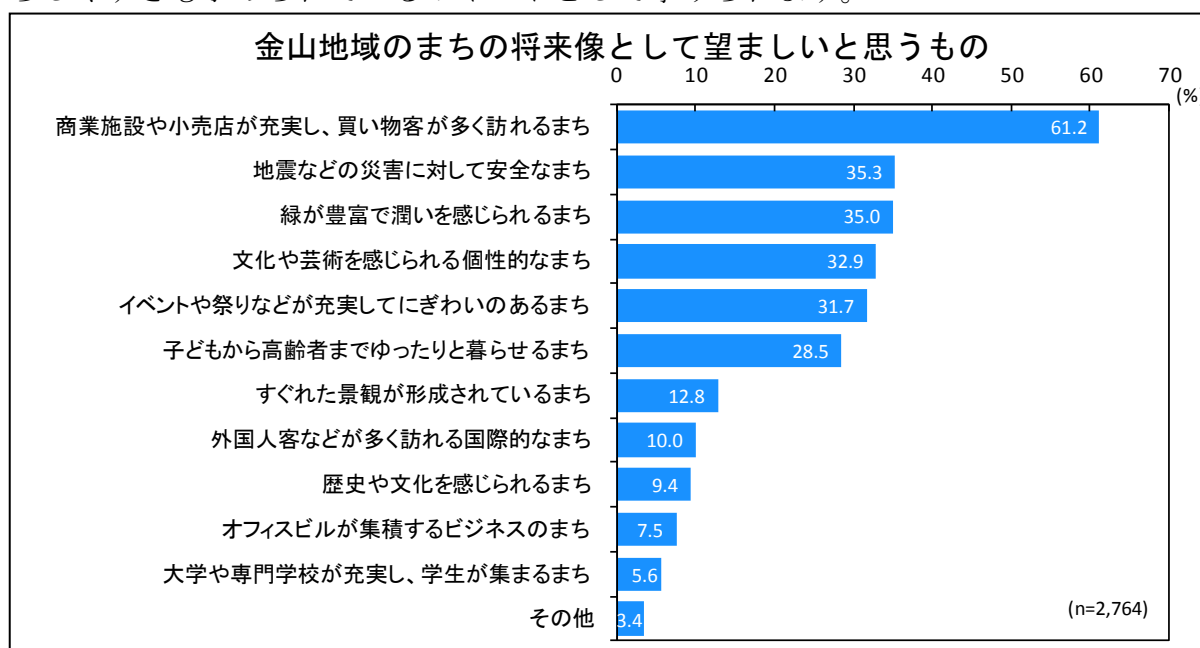
## (4)現況評価

現在の金山地域への評価としては、特に、交通結節点としての乗り継ぎのしやすさをはじめ、まちのにぎわいや飲食店利用の面では満足度が高くなっています。一方、公園や広場の利用、まちの防災・災害時の安全性などの面では満足度が低く、今後のまちづくりの課題になると考えられます。



## (5)将来ニーズ

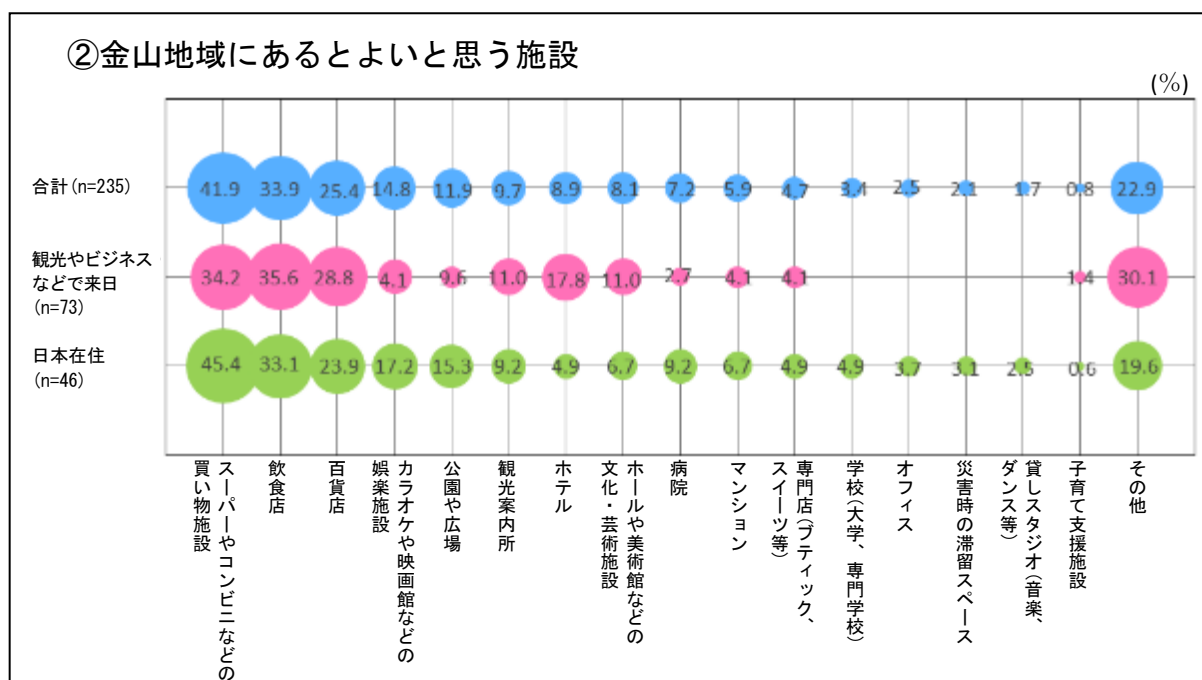
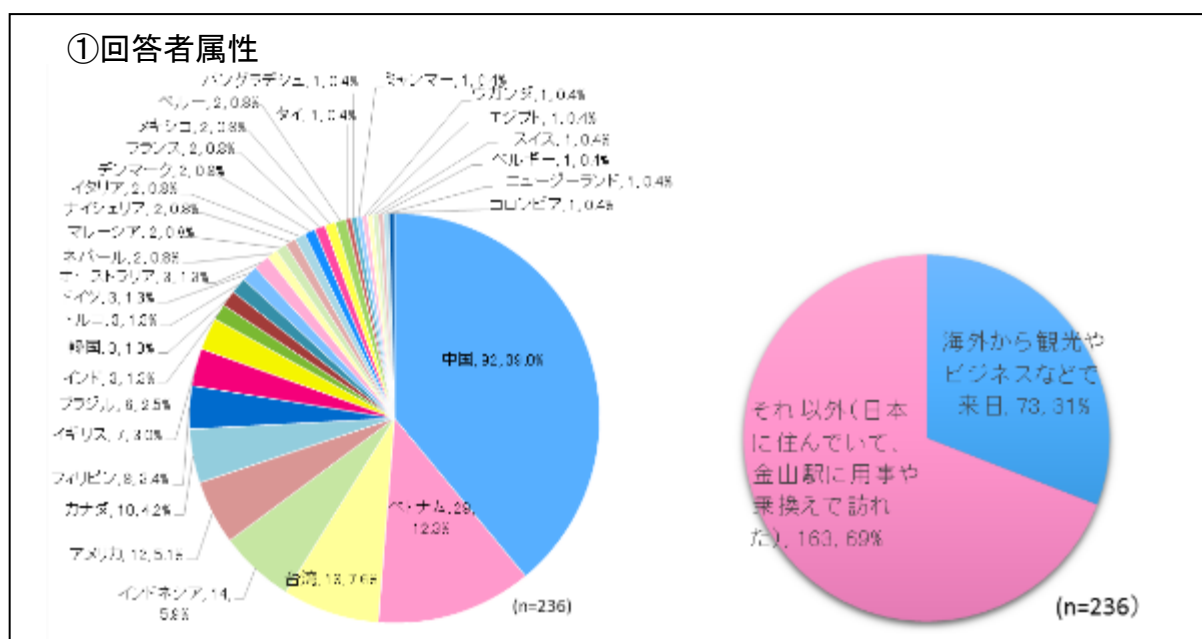
金山地域のまちの将来像としては、アスナル金山や飲食店など商業施設の立地が現在の地域の特長の1つとなっていますが、より一層の商業施設の導入と商業中心のまちづくりへの期待が高くなっています。一方、防災への意識も非常に高く、災害に対して安全なまちも求められています。また、緑や文化・芸術、イベント、暮らしやすさも求められているポイントとして挙げられます。



## (6)外国人の意向

外国人の回答者の国籍は中国が約4割を占めていますが、あとは多岐に渡っており、金山総合駅はすでに国際的な利用がされている駅となっています。中部国際空港と直結しているため観光やビジネスでの利用もありますが、約7割は日本在住者の利用となっています。

将来ニーズについては、在住外国人では、日本人同様、買い物など商業系の施設へのニーズ高くなっています。一方、観光やビジネスで来日している外国人では、飲食店、ホテル、観光案内所、文化・芸術施設など、滞在中に利用する施設へのニーズが高くなっています。



## 8. 課題

ここまでの時代の潮流、各種計画による位置づけ、金山北地区整備計画の実施状況、アンケート調査結果を踏まえると、以下のように課題を整理することができます。

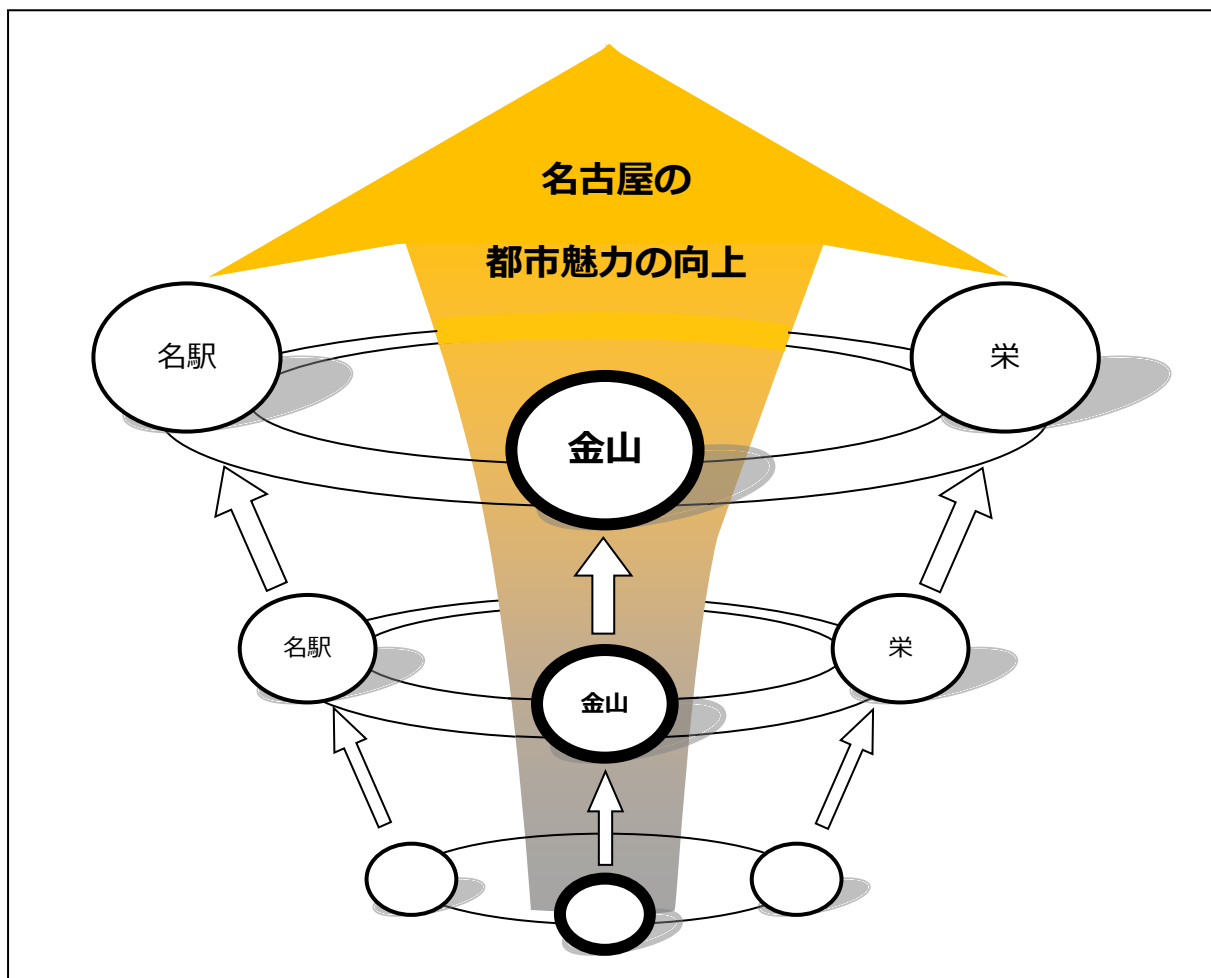
### (1)名駅・栄との連携・差別化

名駅では、名古屋駅周辺まちづくり構想が策定され、国際的、広域的なビジネス拠点・交流拠点としてのまちづくりが進められています。

栄では、栄地区グランドビジョンが策定され、「最高の時間と居心地を提供」する地区として商業・娯楽の集積したまちづくりが進められています。

一方、金山は名駅や栄へのアクセス性、利便性、地価の安さ等を背景とした開発の優位性があります。更に交通結節点としての集客力の高さを活かしたにぎわい、市民会館などによる文化・芸術的なイメージ、古くから続くまちの歴史など様々な特徴があります。

今後は、価値観・ライフスタイルが多様化する中、金山が持つ文化・芸術などの多様な特性を活かした金山独自のまちづくりが求められており、それと同時に、名駅・栄・金山の3地域の連携による相乗効果を生み出し、名古屋の都市魅力を向上させていく必要があります。



## 名駅

「名古屋駅周辺まちづくり構想」

2014(H26).9 策定

**世界に冠たる**

**スーパーターミナル・ナゴヤ**

～国際レベルのターミナル駅を有する  
魅力と活力にあふれるまち～

…広域的なビジネス拠点・

交流拠点



## 栄

「栄地区グランドビジョン」

2013(H25).6 策定

**まるごと感動空間**

『最高の時間と居心地を提供』

…商業・文化・娯楽が集積した

活力あるまち



## 金山

「金山駅周辺まちづくり構想」

2017(H29). 策定

**交通拠点から交流拠点へ**

～にぎわい・文化・芸術の継承と

新たな役割を求めて～

…にぎわいとうるおいの継承・発展

文化芸術や創造等拠点の集客性向上

地域防災力の強化

交通結節点の機能強化

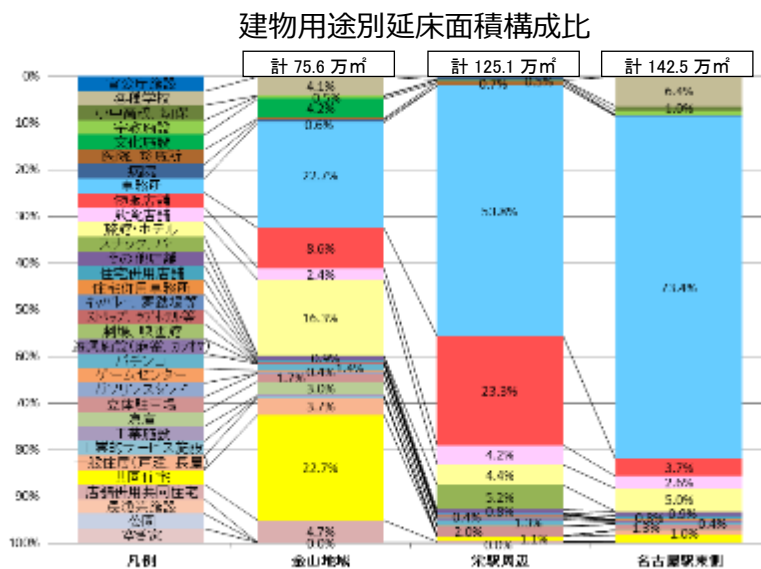
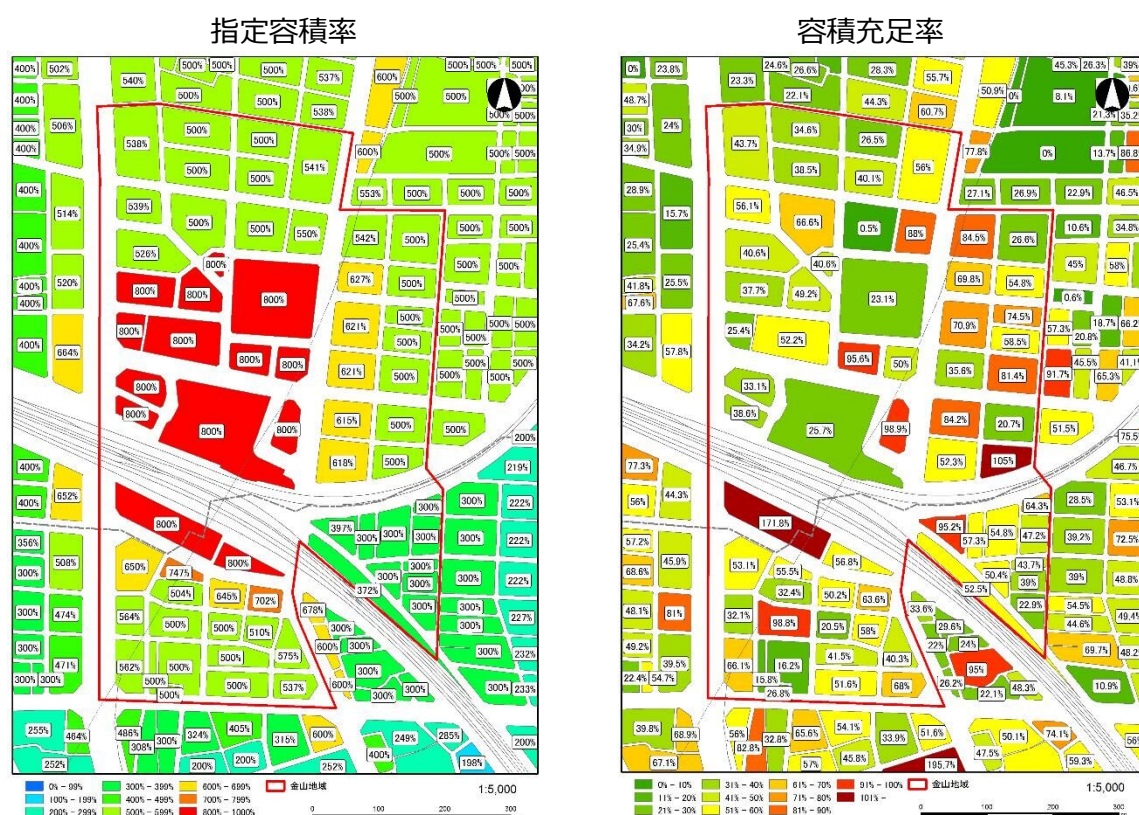


## (2)土地の有効活用

金山地域の指定容積率は500～800%と高くなっていますが、街区別の容積率の充足率は40～50%と低い状況にあります。近年は、ビルの建替えなどの機能更新もあり進んでおらず、十分に容積率が活用されていない状況です。

一方、現状の建物の用途（延床面積）では、事務所（22.7%）、共同住宅（22.7%）、旅館・ホテル（16.3%）、物販店舗（8.6%）が主な用途になっていますが、名駅・栄と比べオフィスが少なく、共同住宅が多くなっています。

今後は、名駅や栄に並ぶ広域の交通結節点として、業務や商業機能をはじめ、国際的な視点からは宿泊機能、また女性や子ども、高齢者などを意識した機能など、将来ニーズを見据えた都市機能の導入・集積をはかるために、更なる土地の有効活用が求められています。



(資料) 平成 23 年建物用途別現況調査をもとに作成

### (3)にぎわいとうるおい機能の継続・集積

アスナル金山の開発は、本格的な開発の前に地域のポテンシャルを向上させるため、暫定開発として実施されたものですが、この開発により商業施設が集積するとともに、屋外ステージでもイベントが頻繁に開催されるなど、現在では多数の集客を実現しています。周辺においても、飲食店などの立地が進むなど、アスナル金山の開発は、地域のにぎわい創出に一定の貢献をしてきました。

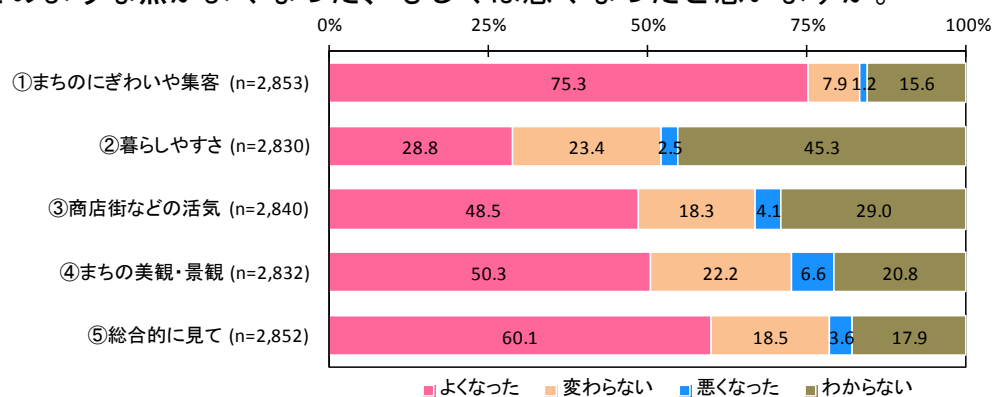
一方、金山地域の北部には、古沢公園があるものの、駅前では緑化空間が少なく、緑などの自然環境に対するニーズが高まっています。

今後は、施設の更新をする際にはにぎわい機能が途絶えることのないような事業手法の検討を行うとともに、金山地域全体として、更なるにぎわいとうるおいの創出に貢献する施設の集積が求められています。

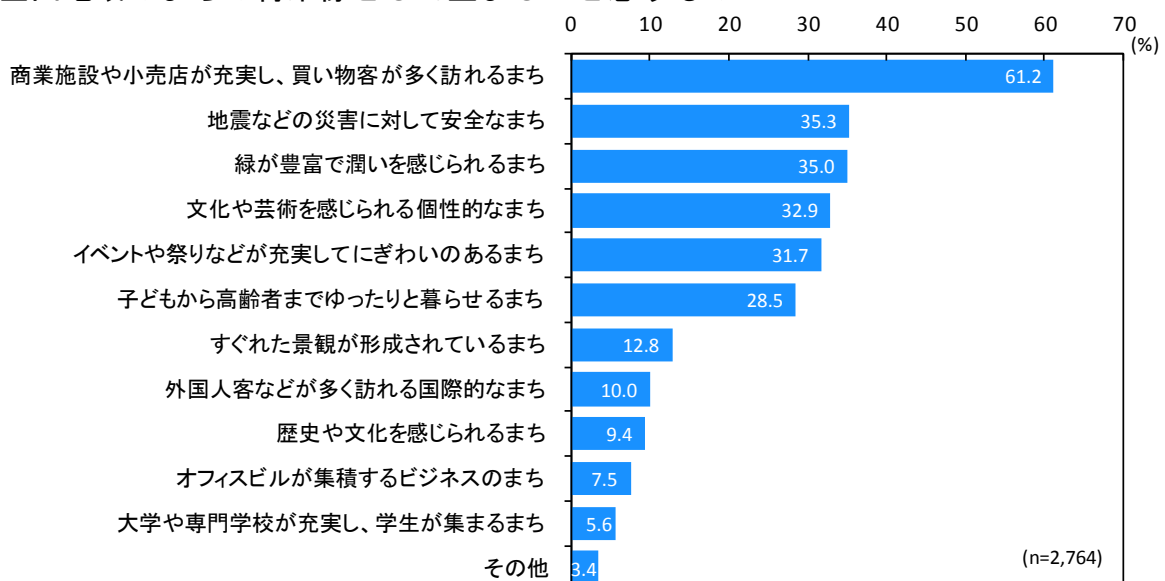
#### 金山駅周辺の今後のまちづくりに向けたアンケート調査結果

まちのにぎわいや集客はよくなったと評価する人が 75.3%と高くなっており、総合的に見ても 60.1%の人がよくなったと評価しています。

アスナル金山が 2005 年（10 年前）に開業しましたが、開業以前と比べて、金山地域はどのような点がよくなった、もしくは悪くなったと思いますか。



#### 金山地域のまちの将来像として望ましいと思うもの



## (4)回遊性の拡大

金山地域内においては、市民会館やアスナル金山、金山南ビル、イベントが開催される金山駅南広場、金山神社などの拠点的な集客施設、商店街・商業施設が多数立地していますが、来街者の行動範囲は駅を中心に限定的なものとなっています。また、多くの来街者を有する市民会館への動線は、地下鉄駅構内から地下通路が直結しており、アクセス性は良い一方で、市民会館以外の施設への回遊性が見込みにくいなど、多くの来街者の行動範囲は広がりには乏しい傾向にあります。

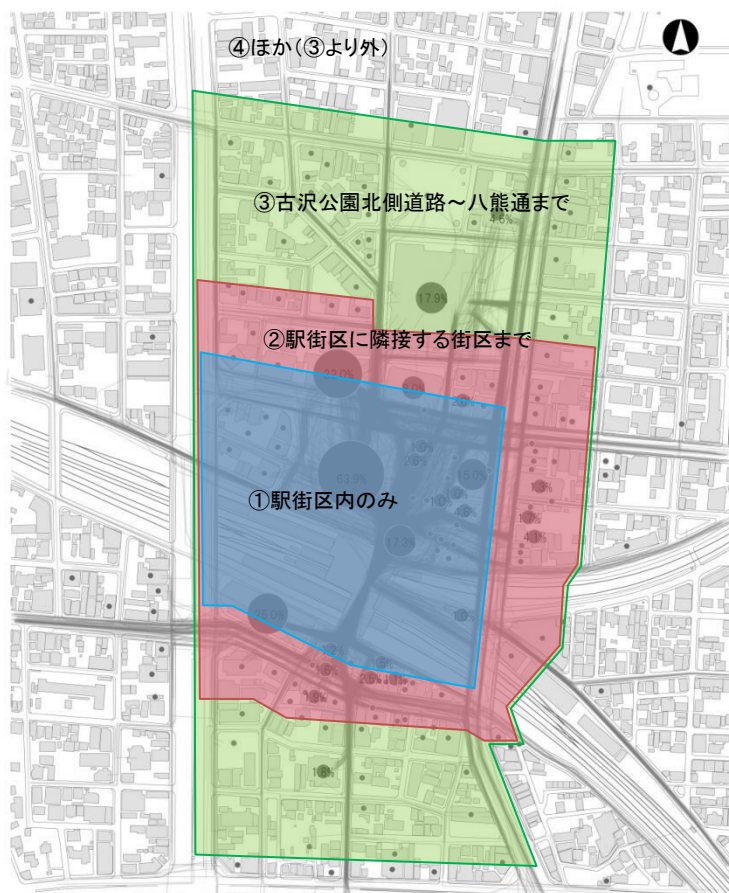
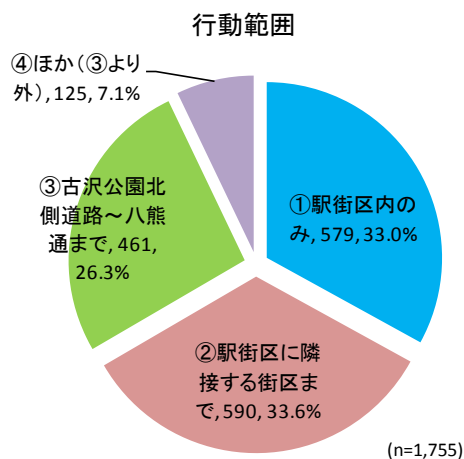
今後は、地上レベルにおいて来街者の行動範囲が広がることは地域の活性化につながるため、更なる地上レベルでの回遊性の拡大が求められています。

また、金山地域を含む一帯は、歴史的にも熱田神宮と名古屋城を結ぶ本町通をはじめ、複数の街道が行き交う交通拠点であったため、多くの歴史的な地域資源を有している他、堀川沿いのプロムナードや公園などの憩いの場や、杉原千畝の功績と名古屋とのゆかりを伝える「杉原千畝・人道の道」の銘板などもあります。

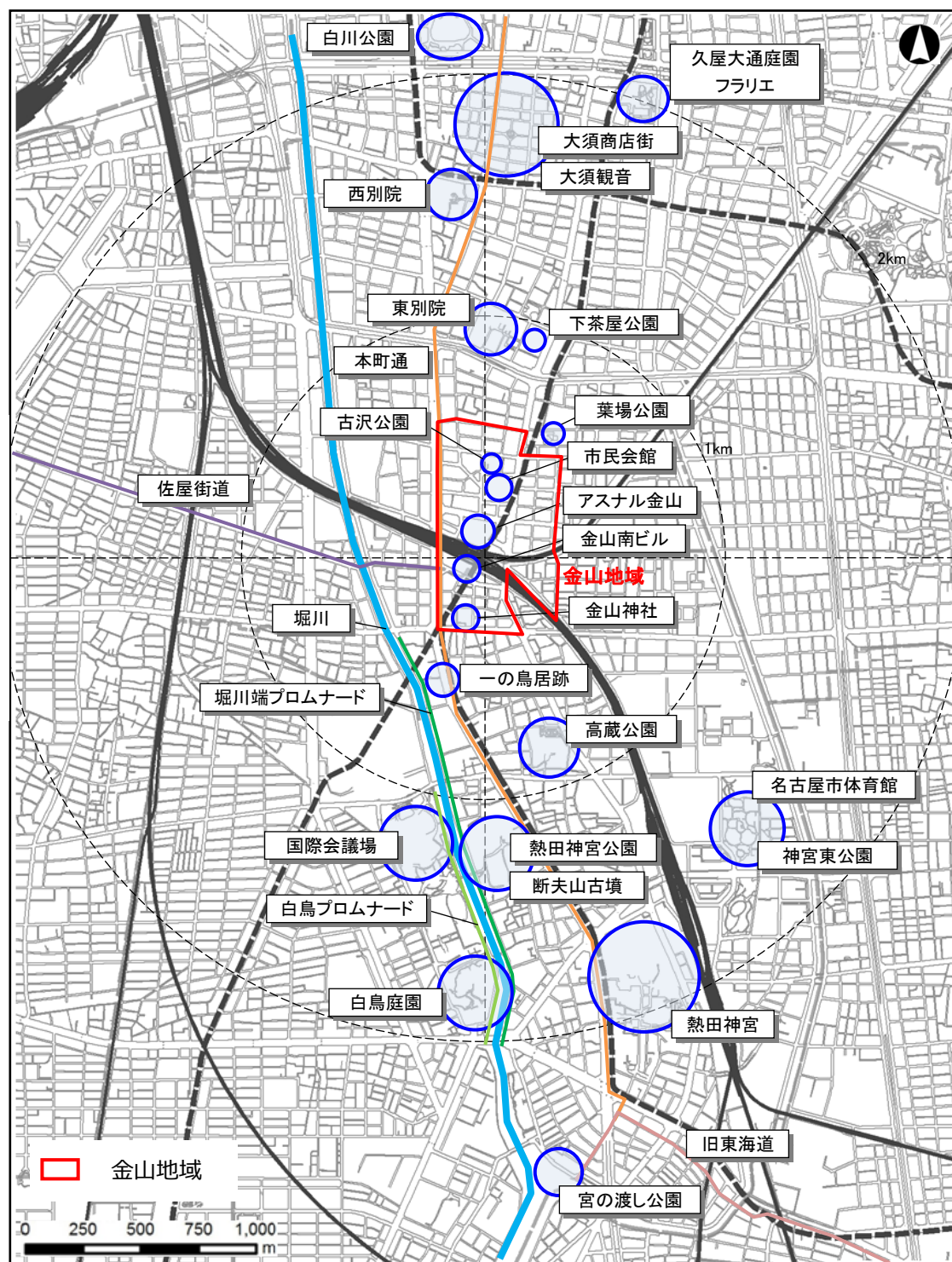
今後は、地域内での歩行者の回遊性のもとより、地域外を含め、公共交通との連携なども考慮した回遊性の拡大が求められています。

### 金山地域でよく行く場所と通る経路（行動範囲）

駅利用者の行動範囲は、駅街区内のみが約3分の1、駅街区に隣接する街区までが約3分の1となっており、現状では狭い範囲に限られています。また、この範囲の外でよく利用する施設は、市民会館のみとなっています。



## 金山地域を中心とする主な地域資源



### 金山神社

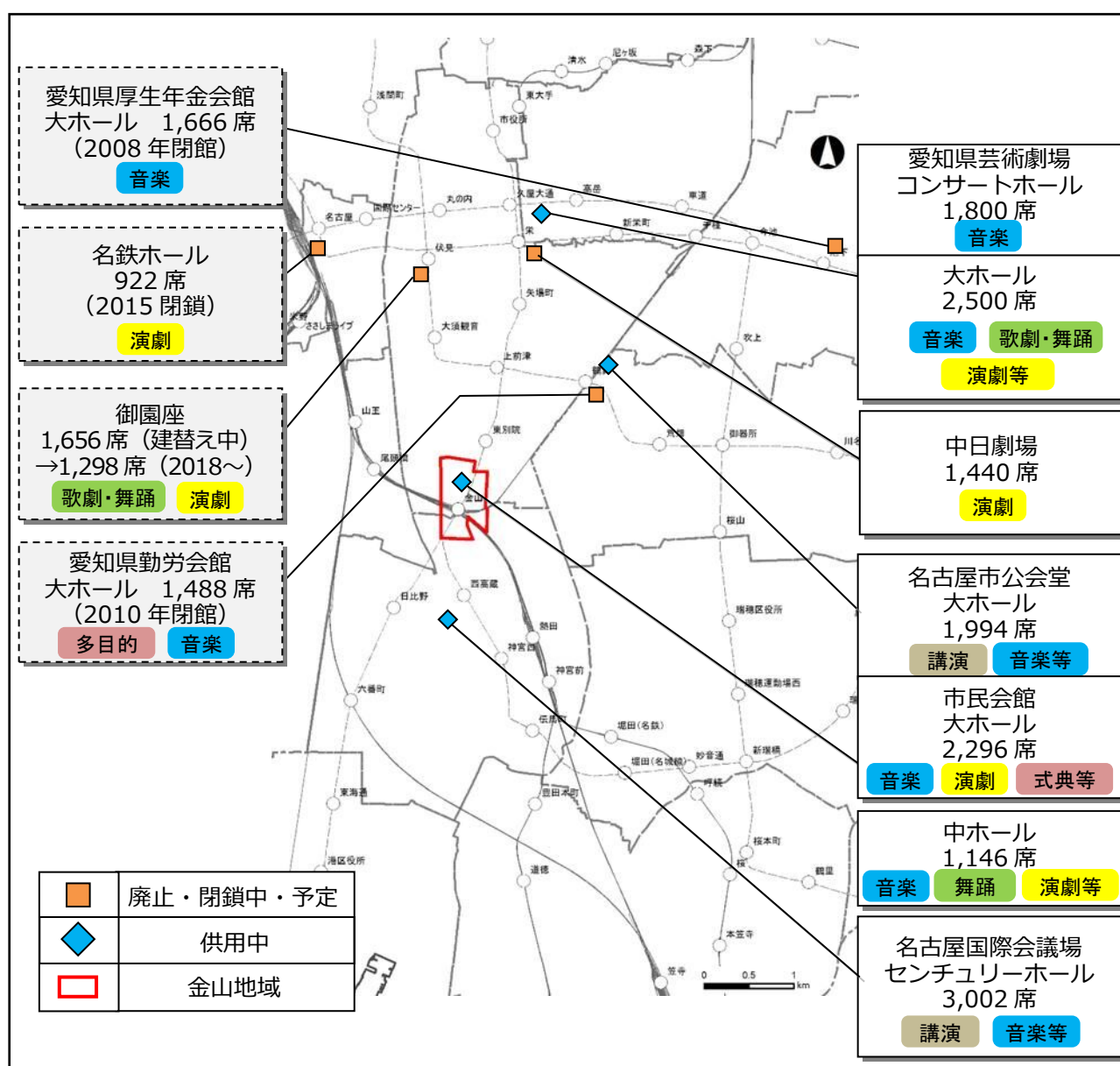
金山地域の南には、かつて鍛冶職人たちが「金山彦の命(みこと)」を祀り、「金山の社」と呼ばれた金山神社があります。「金山」という地名は、この社に由来すると言われています。

## (5)ホール機能の継承

市民会館は、金山地域の文化交流機能の象徴として重要な位置づけを持つ施設であり、大中2つのホールを有しています。近年、市内において1,500席前後の同規模ホールが相次いで閉鎖されたこともあり、施設の重要性が増しています。

一方、施設や設備の老朽化が問題になりつつあるとともに、バリアフリーに対応できない構造であるため、建替えやリニューアルなどの機能更新が求められています。機能更新にあたってホール機能が中断すると、現状でも市内でのホールの不足感がある中、明らかな供給不足となり、コンサートや催しなどの開催が困難になることが懸念されます。

今後は、文化交流活動を維持・継続するためにも、市民会館のホール機能を中断することなく継承しながら更新していくことが求められています。



名古屋市内の概ね 1,000 席以上の文化ホールの立地状況・利用分野

## (6)災害時の対応

金山総合駅は、名古屋駅に次いで多数の乗降客数を有する駅であるため、地震などの大規模な災害の発生時には、鉄道利用者による大きな混乱の発生や周辺の従業者等を含めた膨大な帰宅困難者の集中が想定されます。

実際、2013（平成 25）年 9 月 4 日や、2016（平成 28）年 8 月 2 日に発生した大雨の際には、多くの人々が金山総合駅連絡通路橋や、金山南ビル 1 階部分のインターコモンにも集中し、対応が求められました。

今後は、南海トラフ巨大地震や頻発する大雨が懸念される中、避難スペースの拡充、帰宅困難者対策、防災意識の向上などの防災・減災に早急に取り組んでいく必要があります。



2016（平成 28）年 8 月 2 日大雨時の金山総合駅連絡通路橋の様子



2016（平成 28）年 8 月 2 日天候回復後の金山総合駅南口の様子

## (7) 駅利用者の滞留空間等の充実

金山総合駅は、1日の乗降客数が名古屋駅に次いで2番目に多いなど、多数の来街者が利用しています。しかし、アスナル金山のオープンなどで来街者が増加する中、多数の駅利用者が待ち合わせなどに利用できる滞留空間や、イベントなどが開催できる広場空間が手狭となってきました。

今後は、多数の駅利用者のための滞留空間、イベント開催などのための広場空間といった、多様な目的に利用でき、十分な広さを持つオープンスペースの確保が求められています。

### アスナル金山



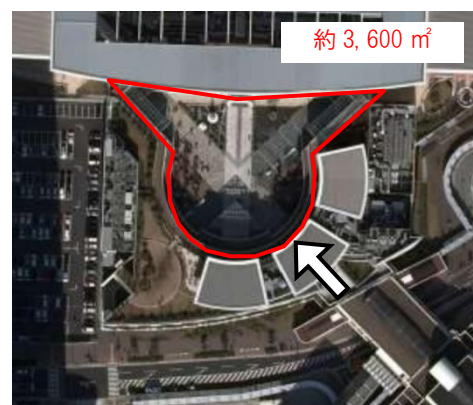
写真撮影位置図



金山総合駅北口

(出典) 国土地理院撮影の空中写真 (2010 (H22) 年撮影)

### ラゾーナ川崎



写真撮影位置図



川崎駅北口

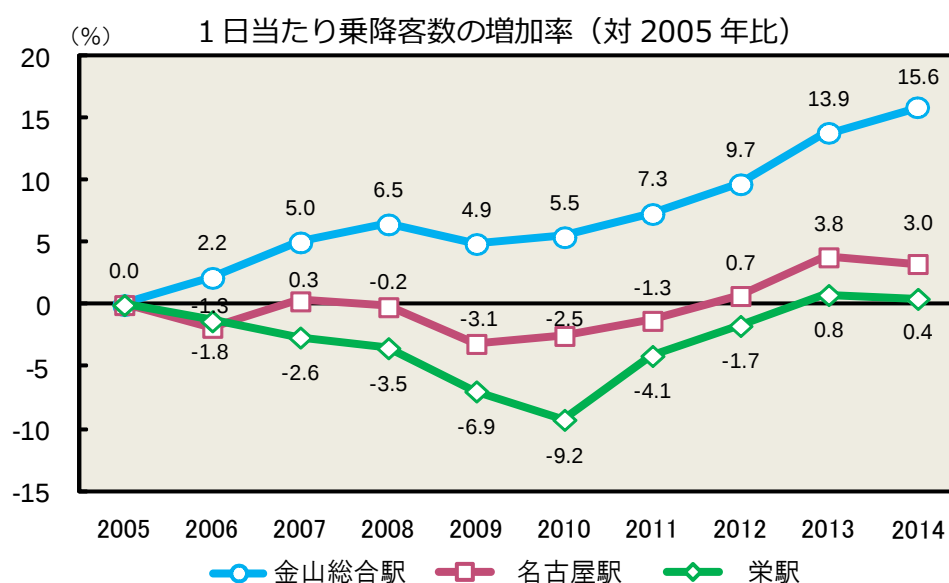
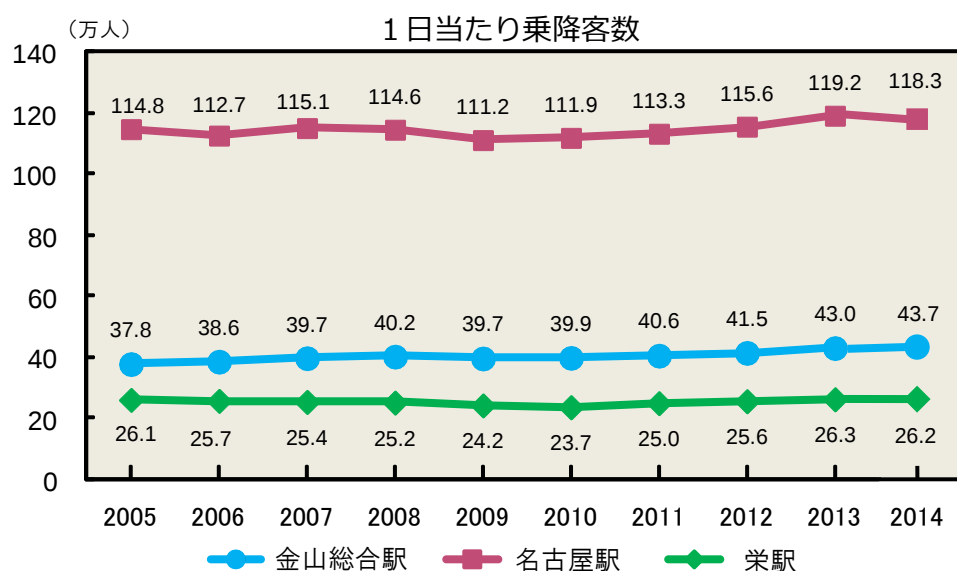
(出典) 国土地理院撮影の空中写真 (2010 (H22) 年撮影)

## (8)交通結節点機能の充実

金山総合駅は、鉄道乗降客数が1日約44万人、バス乗降人員が1日約1.5万人あり、その他にもタクシー乗り場や自転車駐車場などを有する総合的な交通結節点となっています。近年の高齢化の進展によって公共交通の重要性が増す中、その役割は更に重要なものとなっていきます。また、中部国際空港に直結している金山総合駅は、リニア中央新幹線の開業など交流圏の拡大により、多様な駅利用者や外国人観光客などの増加が想定されます。

しかし、金山総合駅連絡通路橋においては、耐震改修が必要な状態となっており、早期の改修が望まれております。

今後は、金山総合駅連絡通路橋の耐震改修を実施するとともに、鉄道以外の交通手段への乗換利便性を更に向上させ、利用者それぞれのニーズに柔軟に対応することが求められています。



※栄駅は地下鉄栄駅と名鉄栄町駅の合計

(資料) 名古屋市統計年鑑をもとに作成

## 9. コンセプト

### 交通拠点から交流拠点へ

#### ～にぎわい・文化・芸術の継承と新たな役割を求めて～

金山総合駅は、名古屋市内だけでなく、鉄道により三河地方などの愛知県内、更には岐阜などの愛知県外とも結ばれており、多方面からの来街者が訪れる交通結節点となっています。また、名古屋駅、中部国際空港、名古屋港とも結ばれており、より広域な国内外からの来街者も想定されます。一方で、駅周辺には住居が近接しており、多くの住民の方が存在するといった特徴も有しています。このように多様な来街者が想定される金山駅周辺では単なる交通拠点としてではなく、ユニバーサルデザインの基にデザインされた、便利で国際的な交流拠点としての役割が期待されています。

今後は、防災機能やこれまで長い歴史の中で培われた文化芸術の機能を兼ね備えるとともに、土地の有効活用により、商業、オフィス、宿泊などの都市機能の充実をはかっていくことで、人々の創造性が育まれ、老若男女誰もが集い・楽しむことができ、多種多様な交流によるにぎわいあふれるまちを形成します。



駅北側には緑豊かな広いオープンスペースが設けられ交流拠点の中心として機能しています

## 10. 基本方針

### (1)にぎわいとうるおいの継承・発展

- ① 都市機能の集積
- ② 商業機能等の再編
- ③ 金山地域内外の回遊性の向上

### (2)文化芸術や創造等拠点の集客性向上

- ① 市民会館の機能更新
- ② まちかどからの文化・芸術の発信
- ③ 金山南ビルの活用

### (3)地域防災力の強化

- ① 安全確保施設の充実
- ② 防災意識の向上
- ③ 広域避難場所の活用

### (4) 交通結節点の機能強化

- ① 乗り継ぎ利便性の確保
- ② 情報発信機能の充実
- ③ 来街者向けサービスの提供



オープンカフェなど、家族連れや子ども達が楽しめる仕掛けの展開が想定されます

## (1)にぎわいとうるおいの継承・発展

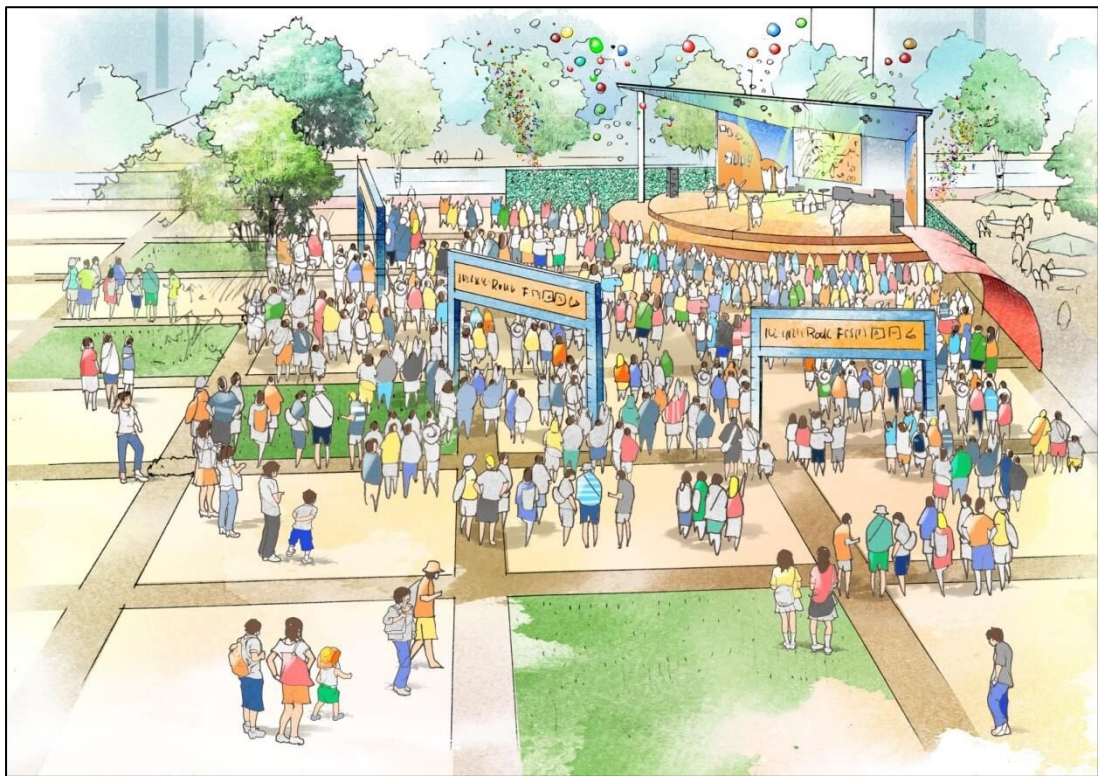
金山駅周辺は、金山総合駅を起点とした多数の利用があり、中長期的には、中部国際空港からのインバウンドや、東京一名古屋間のリニア開通による来街者の増加が見込まれています。今後は、それらのポテンシャルを十分に活かすため、オフィスや商業、居住といった基本的な都市機能の集積をはじめ、海外からの利用を見据えた宿泊機能の導入をはかるとともに、少子化に対応して子育て支援や女性の企業参加など女性が働きやすい環境づくり、子どもから高齢者まで誰もが居心地良く過ごせる開放的な空間づくりなど、今後の時代の流れを先導するのに十分な機能を導入・集積することが求められます。

一方、金山地域は、地域資源に恵まれ、観光や買い物などで大勢の人が訪れる熱田、白鳥と大須、栄の間に位置しています。これらの地域とは、公共交通で結ばれていますが、更に連携を強化することで、金山地域内外の回遊性を向上し、来街者の交流を促進させることが期待されています。

今後は、これまで培われたにぎわいとうるおいを継承するとともに、更に発展させていきます。

### <展開する施策>

- ① 都市機能の集積
- ② 商業機能等の再編
- ③ 金山地域内外の回遊性の向上



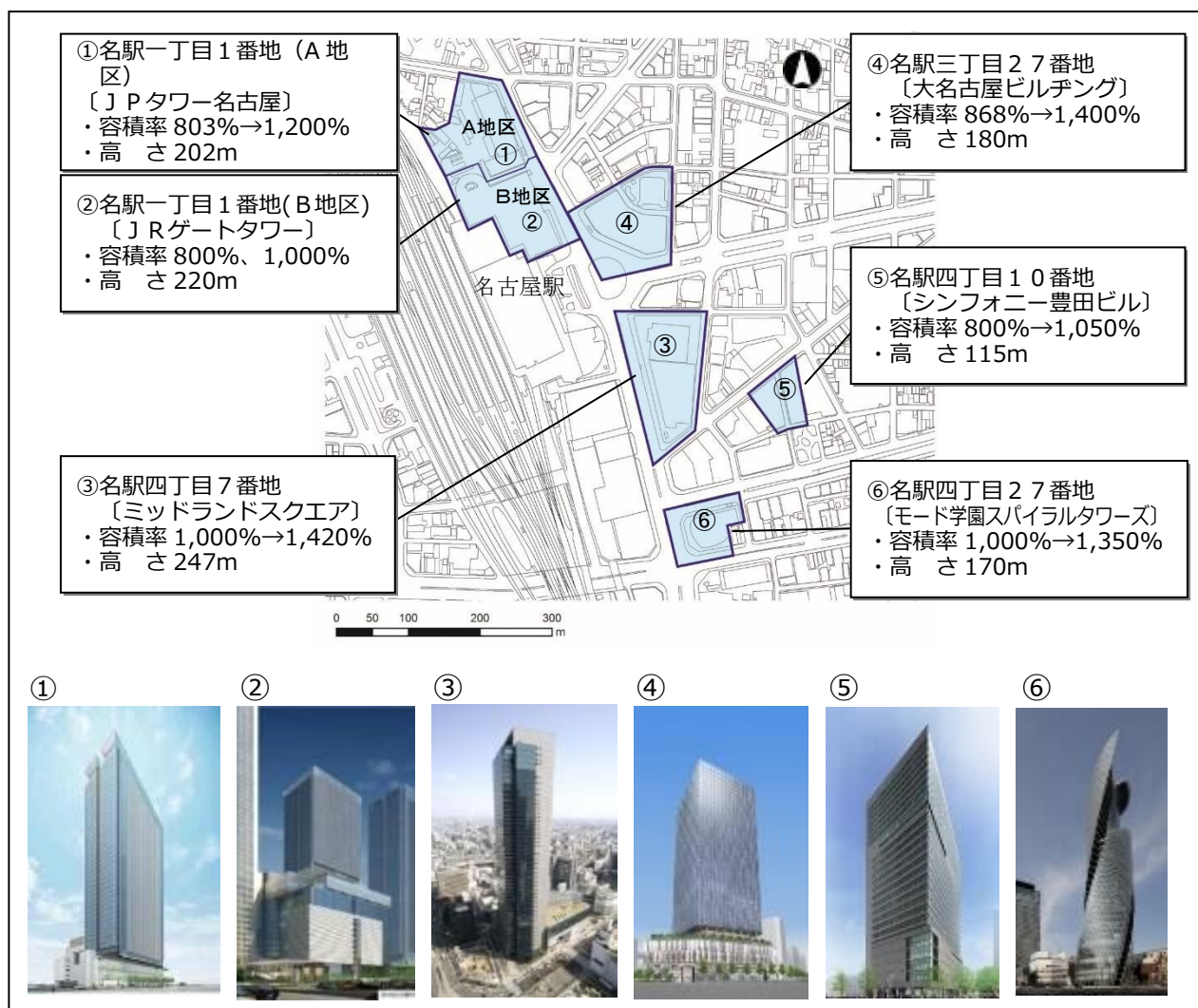
金山にくるとステージではイベントが開催されており、にぎわいの中心を担っています

## ① 都市機能の集積

金山地域の土地利用をみると、指定容積率は500～800%と高いわりに、その充足率は低く、十分に容積率が活用されておらず、また現状の建物の用途も、事務所や共同住宅、宿泊施設、飲食店舗が主な用途になっており、名駅・栄と比べてオフィスが少なく、共同住宅が多くなっています。

今後は、広域の交通結節点という現状の金山地域の特性を活かしつつ、将来増大するポテンシャルに対応するためにも、将来ニーズを想定して、商業業務施設や、宿泊施設、共同住宅、公園を再配置する事で必要な機能を確保するとともに、公開空地の活用等により、地域全体として今まで以上のオープンスペースを確保するなど、更なる都市機能の集積をはかっていきます。

更に、効果的に都市機能の集積をはかるために、都市計画・都市再生制度や国の支援措置などの活用を検討し、容積率などの規制緩和による高度利用や敷地の集約化などによる土地の有効利用を可能として、開発における選択肢の幅を広げ、より実現性や効果の高い事業の展開を促進していきます。



名古屋駅周辺における主な開発事例

## ② 商業機能等の再編

2005（平成 17）年に駅の北側にアスナル金山が整備され、アスナル金山と周辺の商店街との相乗効果により、金山地域全体としてにぎわいが増してきました。

また、金山地域では、これまでなかった屋外でのステージイベントも頻繁に行われ、これも金山地域にはなくてはならないものになっています。しかし、大規模なイベント時には商業施設への通行の妨げになるなど、ソフトの成長に対しハードが受け切れていない状況も見受けられ、駅利用者のための滞留空間に加え、イベントなどが開催できる広場空間の確保が必要となっています。

今後は、駅前の商業機能の継続をはかりながら、将来の金山地域にふさわしい商業機能の質と量を踏まえ、周辺商店街との相乗効果を更に発揮できるよう商業施設を再編するとともに、駅利用者のゆとりとうるおいのある滞在やイベントの開催ができるよう、施設の拡充、再配置を行っていきます。



ラゾーナ川崎プラザ内のオープンスペース、  
ステージ（川崎市）



ラゾーナ川崎プラザの空中写真

（出典）国土地理院撮影の空中写真（2010 年撮影）

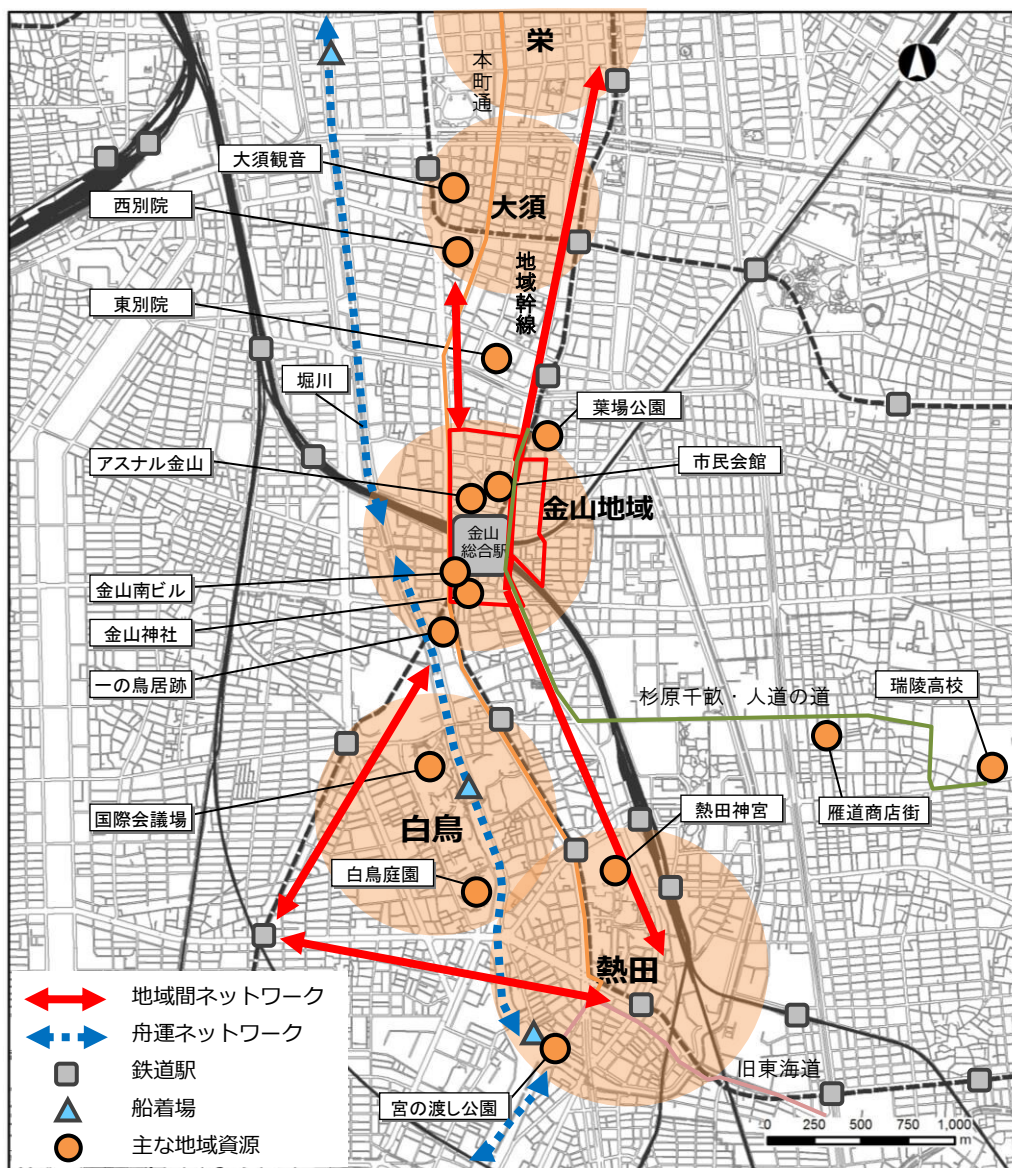


ステージイベントの様子

### ③ 金山地域内外の回遊性の向上

金山地域には、駅南北にそれぞれに商店街が組織され、手羽先サミットや夏祭りなどのイベントの開催、商店街マップの作成など、地域の活性化に取り組んでいます。また、金山地域内外には地域資源が多数立地するとともに、南側には熱田や白鳥、北側には栄・大須などの特徴ある地域が位置しています。

今後は、金山地域内においては、集客施設などの適切な配置とそれを踏まえた歩行者動線を考慮するとともに、建物の更新に合わせた壁面後退や公開空地の創出により、回遊性の高い歩行者ネットワークを確保し、回遊性の向上をはかります。一方、広域的には、栄・大須・金山・熱田と賑わいの拠点を結ぶ金山地域東側の公共交通機関を踏まえた「地域幹線」と、金山地域西側の名古屋城につながる歴史的価値のある「本町通」を活かし、地域資源を活用したイベントや来街者に対するPRなど情報発信の連携・強化するなど、金山地域を中心とした広域な回遊性の向上をはかります。



金山地域を中心とした回遊ネットワーク

## (2)文化芸術や創造拠点等の集客性向上

金山地域には、市民会館、音楽プラザ、ボストン美術館、都市センターなどの文化芸術や創造拠点が集積し、金山地域における文化芸術、創造によるにぎわいの形成に大きく寄与してきており、これは名駅や栄とは異なる金山地域の個性となっています。

この文化芸術、創造を金山地域の大きな特長として捉え、市民会館を中心に、アートのみち・金山としての取り組みや、都市センターを中心とした、まちづくり研究等の創造拠点としての取り組みを、金山地域全体で、個性的で創造的なまちづくりとして展開していくことが求められています。

今後は、施設の充実や施設の利用者などとの連携により、これまでの文化芸術や創造拠点のとしての集客性向上をはかっていきます。

### <展開する施策>

- ① 市民会館の機能更新
- ② まちかどからの文化・芸術の発信
- ③ 金山南ビルの活用



まちかどでは様々な文化・芸術活動が展開されています

## ① 市民会館の機能更新

市民会館（大ホール 2,291 席、中ホール 1,146 席）のここ数年のホール利用率は約 90%と非常に高いものとなっています。6、7 年程前に 1,500 席前後のホールが相次いで閉鎖し、近年においても民間ホールが一般への貸出を停止するなど、市民会館ホールの機能継続は市民にとって非常に重要なものとなっています。

また、市民会館は 1972（昭和 47）年に開館以来 40 年余りが経ち、施設や設備の老朽化が問題となりつつあるとともに、構造的にバリアフリーに対応することが難しい状態であり、機能更新の検討も必要となっています。

そのため、ホール機能の継続を前提に、別敷地で建設するなどホール機能が途切れることがないような整備手法を検討していきます。

また、これまでの鑑賞を中心とするホール機能にあわせて、創造的活動ができる空間など、文化・芸術活動との多様な関わり方ができる施設となるような検討を進めます。

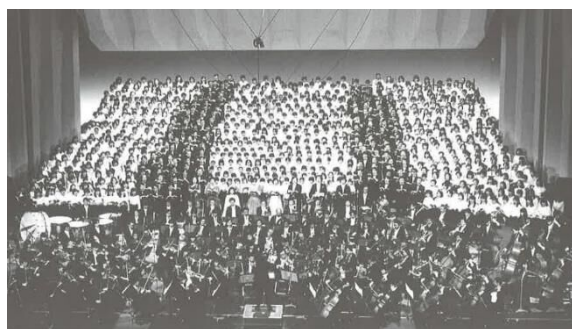


市民会館外観



フォレストホール（大ホール）

（出典）共立・名古屋共立共同事業体HP



朝日新聞本社発刊 50 周年特別演奏会

（1985(昭和 60)年.11)マーラーの「千人の交響曲」

（出典）名古屋フィルハーモニー交響楽団創立 30 周年記念誌



演奏中の様子

## ② まちかどからの文化・芸術の発信

音楽プラザは、音楽その他の舞台芸術の練習の場を市民に提供することにより、芸術文化振興に寄与するために 1996（平成 8）年に開館し音楽を始めとした舞台芸術の練習の場として利用されています。

音楽プラザでは名古屋フィルハーモニー交響楽団等の協力を得ながらサロンコンサートを開催しており、金山地域における文化・芸術の発信の場としての役割を担っています。

また、金山南ビル 1 階のインターコモンでは、地元音楽大学の協力を得て、アンサンブル演奏が行われるほか、アスナルステージや金山総合駅南口では、音楽好きな人たちが演奏を楽しむなど、金山地域のまちかどでは、音楽を楽しむことができます。

今後は、駅前の広場などを活用して、音楽や芸術活動が行われ、金山地域の来街者が、更に文化・芸術活動にふれることができるまちづくりをめざします。



音楽プラザ外観



サロンコンサート（音楽プラザ 1 階）



まちかど演奏会（金山南ビル 1 階インターコモン） 2015（平成 27）年 8 月 21 日

### ③ 金山南ビルの活用

現在、金山南ビル低層棟には名古屋ボストン美術館が入っており、金山地域における芸術面でのにぎわい創出に寄与しています。これまで、市民に質の高い文化芸術に触れていただく機会の提供に取り組んできましたが、2018（平成30）年度には、公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団（名古屋ボストン美術館運営財団）と米国ボストン美術館との姉妹館としての契約が終了する事が決まっています。

一方、高層棟には名古屋都市センターが入っており、まちづくりに関する調査研究、まちづくりライブラリー等の情報収集・提供、まちづくり講演会の開催等による人材育成・交流の役割を果たす創造の拠点となっています。

今後は、金山総合駅に隣接するアクセスの良さを活かしつつ、地域の集客性向上に寄与できる活用方法について検討を進めていきます。



（出典）公益財団法人名古屋まちづくり公社ホームページ

### (3)地域防災力の強化

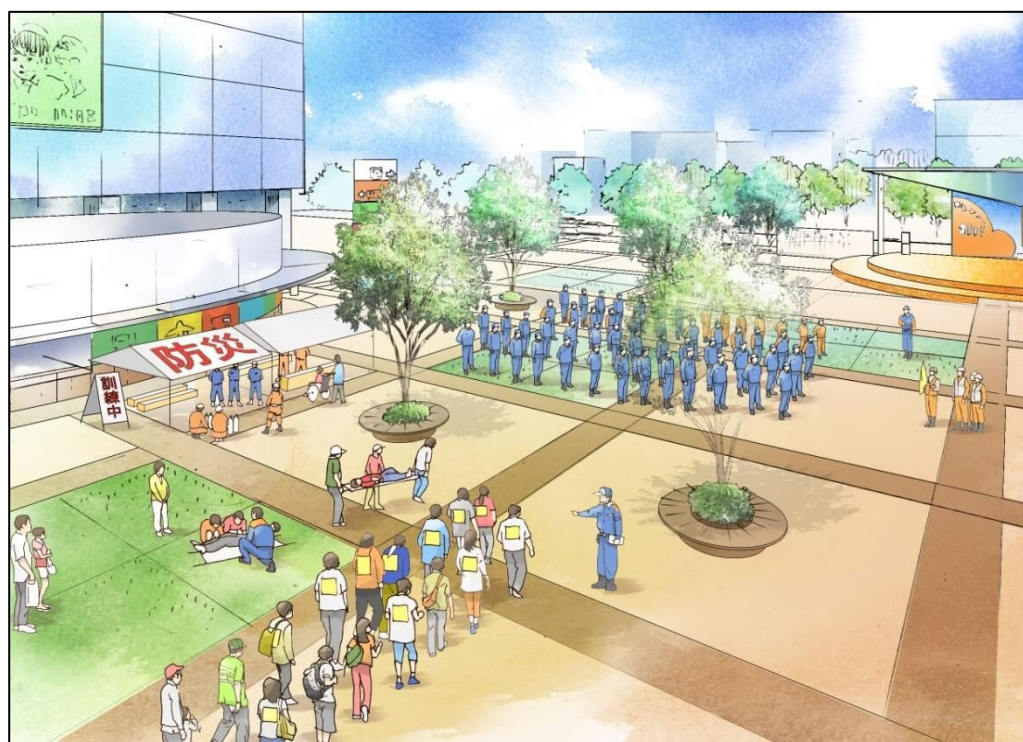
金山駅周辺には住民等に加えて来街者が多数あり、大規模地震や大雨の災害発生時には幅広い対応が求められています。

南海トラフ巨大地震の発生が今後強く懸念される一方で、過去の大雨時には多くの滞留者が連絡通路橋や金山南ビル1階のインターコモンにも滞留する事態なども発生しており、名駅や栄、中部国際空港とも結節する金山総合駅にとって、大規模地震時の帰宅困難者対策をはじめとする防災対策は喫緊の課題となっています。

今後は、行政を始め多様な主体が連携・協力して作成するエリア防災計画等に基づき、安全確保施設の充実、防災意識の向上をはかるほか、広域避難場所の活用のあり方について検討し、総合的な防災対策を推進することで、金山地域の防災力を強化し、地域のポテンシャルの向上をはかります。また、大雨時の対応についても検討していきます。

#### <展開する施策>

- ① 安全確保施設の充実
- ② 防災意識の向上
- ③ 広域避難場所の活用



駅北側のオープンスペースでは、防災訓練が実施されています

## ① 安全確保施設の充実

名古屋市では、2013（平成 25）年度に名古屋駅において大規模な地震に対応するための都市再生安全確保計画が作成されていますが、名古屋駅に次ぐ乗降客数である金山総合駅では、これまでこのような計画は作成されていません。

また、過去の大雨時には、金山総合駅周辺には多数の滞留者が発生し、金山南ビル 1 階のインターコモンに 100 名以上が滞留した事もありました。このような鉄道が運休する大雨時においても、雨の影響を受けにくい地下鉄が運行している場合、栄などの金山地域以外から金山総合駅に人が押し寄せる可能性があります。

今後は、エリア防災計画等を作成し、その計画に基づき、退避施設の確保に努めるとともに、備蓄倉庫、情報伝達施設、非常用発電設備の整備に向け検討していきます。また、大雨時の対応についても検討していきます。

### 都市再生安全確保計画

都市再生緊急整備地域において、都市再生緊急整備協議会により作成される大規模な地震が発生した場合における滞在者等の安全の確保を図るために必要な退避経路、退避施設、備蓄倉庫その他の施設の整備等に関する計画

### エリア防災計画

1日あたりの乗降客数が30万人以上の主要駅周辺において、帰宅困難者対策協議会により作成される都市再生安全確保計画に準じた計画

### 他都市の作成状況

|     | 都市再生安全確保計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | エリア防災計画                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 作成済 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域（大阪駅周辺）</li> <li>・京都駅周辺地域</li> <li>・名古屋駅周辺・伏見・栄地域</li> <li>・川崎駅周辺地域</li> <li>・横浜都心・臨海地域（横浜駅周辺地区）</li> <li>・札幌都心地域</li> <li>・新宿駅周辺地域</li> <li>・大阪コスモスクエア駅周辺地域</li> <li>・辻堂駅周辺地域</li> <li>・東京都心・臨海地域（大丸有地区）</li> <li>・大阪ビジネスパーク駅周辺・天満橋駅周辺地域</li> <li>・東京都心・臨海地域（浜松町駅・竹芝駅周辺地区）</li> <li>・本厚木駅周辺地域</li> <li>・渋谷駅周辺地域</li> <li>・福岡都心地域</li> <li>・大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域（中之島）</li> <li>・池袋駅周辺地域</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・立川駅周辺地域</li> <li>・北千住駅周辺地域</li> <li>・藤沢駅周辺地域</li> <li>・吉祥寺駅周辺地域</li> <li>・綾瀬駅周辺地域</li> <li>・上野駅周辺地域</li> <li>・仙台駅周辺地域</li> <li>・大井町駅周辺地域</li> <li>・武蔵小杉駅周辺地域</li> <li>・中野駅周辺地域</li> </ul> |
| 作成中 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大崎駅周辺地域</li> <li>・千里中央駅周辺地域</li> <li>・横浜都心・臨海地域（みなとみらい 2 1 地区）</li> <li>・神戸三宮駅周辺・臨海地域</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目黒駅周辺地域</li> <li>・新大阪駅周辺地域</li> <li>・溝の口駅周辺地域</li> <li>・蒲田駅周辺地域</li> </ul>                                                                                                                |

（資料）国土交通省都市局、2016（平成 28）年 12 月末時点

## ② 防災意識の向上

金山総合駅は市内有数の交通結節点であることから、地震等の災害発生時には、行政を始め多様な主体が協力して避難誘導や情報提供などの対応を行う必要があります。

現在、アスナル金山では、災害時の備えとして防災訓練の実施や地域貢献型自動販売機が設置されています。これにより災害時の適切な対応を実施することや、災害情報の提供、飲料の提供などができるようになっています。

今後は、エリア防災計画等に基づき、多様な主体による避難訓練の実施や情報伝達ルール、備蓄ルールを確立し、幅広く周知し協力を求めることにより、金山地域全体で防災意識が向上するよう努めます。



アスナル金山の防災訓練の様子



地域貢献型自動販売機

### ③ 広域避難場所の活用

名古屋市内では広域避難場所が 107 箇所指定されており、金山駅周辺に近い所では葉場公園が指定されています。

また、金山駅周辺において大規模な火事が発生した場合には、広域避難場所まで安全かつすみやかに避難するために、避難場所の周知や案内が重要となっています。

今後は、災害発生時において適切な運用が可能となるよう、広域避難場所の活用のあり方について検討していきます。



久屋大通公園



白川公園



名城公園一帯



広域避難場所案内図

都心等の主な広域避難場所

#### (4)交通結節点の機能強化

金山総合駅は鉄道だけではなく、バス、タクシー、自転車などを含めた総合的な交通結節点であるとともに、中部国際空港に直結しており、東京―名古屋間のリニア中央新幹線開通が予定される中、交流圏域の拡大により、国内外からの多様な来街者が想定されます。

また、女性や高齢者、体の不自由な方への配慮や、国際化が進展する中、外国人観光客の増加など将来のニーズを捉え、多様な交通の乗換拠点として、ユニバーサルデザインの考えの基、訪れた人誰もが使いやすいよう、多様なニーズに的確に対応することが求められています。

今後は、異なる交通機関との乗り継ぎ利便性を確保するとともに、情報発信機能の充実や多様な来街者に向けたサービスを提供するなど、交通結節点の機能強化を進めていきます。

##### <展開する施策>

- ① 乗り継ぎ利便性の確保
- ② 情報発信機能の充実
- ③ 来街者向けサービスの提供



国内外からの来街者に多様なサービスが提供されます

## ① 乗り継ぎ利便性の確保

金山駅は総合駅化により、J R 中央本線・東海道本線、名鉄名古屋本線、地下鉄名城線・名港線の鉄道が乗り入れています。また、17 系統のバス路線、1,802 台分の自転車駐車場、タクシー乗り場が設置されており、鉄道だけではなく他の交通手段への乗換えの拠点にもなっていますが、一部のタクシー乗り場や自転車駐車場などにおいては、場所が分かりにくい等の課題が残された状況となっています。また、金山総合駅連絡通路橋においては、耐震改修が必要とされています。

今後は、金山総合駅では引き続き多数の利用者が想定されるため、利用者にとって分かりやすい動線計画等を策定する必要があります。

また、金山総合駅連絡通路橋の耐震改修を着実に実施し、金山総合駅連絡通路橋などにおいては、バスターミナルなどへの分かりやすい誘導を実施するための連続的なサインを設置するとともに、サインの規格を定め、それに基づいた同様のサインによる表示をめざします。



分かりやすい案内・サインの例（渋谷駅）

## ② 情報発信機能の充実

金山地域では、金山駅南広場でのイベントや、アスナル金山での屋外イベント、金山総合駅連絡通路橋内でのイベントなど、様々なイベントが多数開催されています。金山総合駅は市内外からのアプローチがしやすいため、周知方法によってはこれらイベント参加者の更なる増加を促し、にぎわいの向上が見込まれます。

一方、災害時には、多数の駅利用者が金山総合駅連絡通路橋などに滞留することが想定されています。

今後は、多種多様なイベント情報とともに、迅速かつ的確な防災情報の提供がされるよう検討していきます。



大型ビジョンによる駅前滞留者への情報提供（新宿区）

（出典）新宿区ホームページ



金山総合駅連絡通路橋内の大型ビジョン

### ③ 来街者向けサービスの提供

金山総合駅周辺は、市内有数の交通結節点として多種多様な人に利用されています。そのため、社会情勢の変化に的確に対応し、女性や高齢者、体の不自由な方などの利便性を向上させる機能を導入するなど、どなたにも利用しやすいまちのデザインが求められています。

また、中部国際空港と直結するとともに、周辺には国際会議場が位置するなど、国内外からの来街者の拠点となることが期待されていますが、現在設置されている観光案内所の誘導サインが不十分などの課題があります。

今後は、ユニバーサルデザインの考えの基、託児所や授乳スペースの設置や、各種案内施設等は高齢者や体の不自由な方の利用に配慮するとともに、名古屋の国際コンベンションゾーンとして、国内外の多種多様な来街者に対し、空港までの荷物の配送や、Wi-Fi スポットの設置、観光案内所へのよりよい誘導方策など、将来見込まれるニーズに対応したサービスの提供がはかれるよう検討していきます。



授乳室（アスナル金山）



触知案内板とインターホンを使用した方に対して係員が誘導する「人による援助」のしくみ（アスナル金山）



フリーWi-Fi 付き歩行者案内板（名古屋駅）

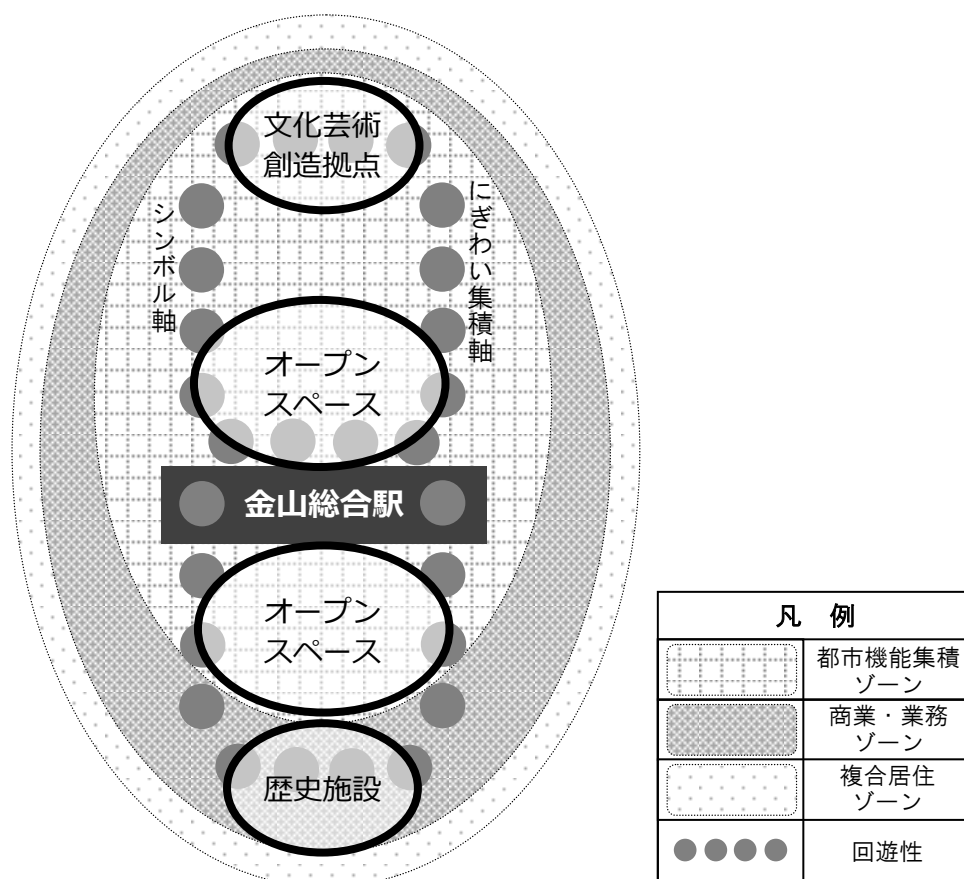
# 1 1. 土地利用構想

## (1)機能配置イメージ

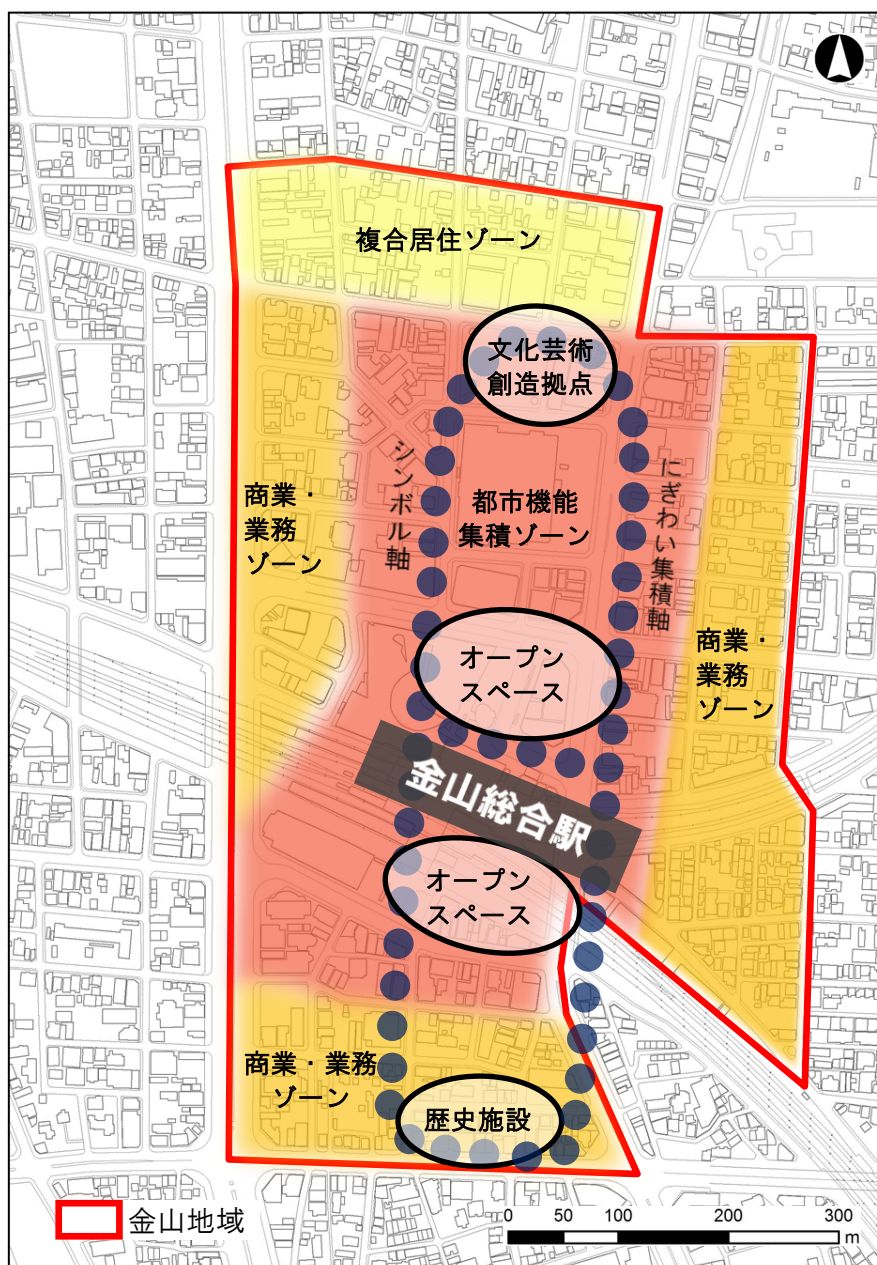
金山総合駅を中心に、今後、更に都市機能の集積が期待されているエリアを都市機能集積ゾーンとし、それを囲むように商業・業務施設に適した商業・業務ゾーン、更にその外側については高層の共同住宅も踏まえた複合居住ゾーンとします。

また、金山総合駅直近にオープンスペースを配置し、にぎわいの集積、防災性の向上、緑化の充実等により魅力ある空間を創出する事で、単なる乗換え利用から、金山地域に1歩踏み出す目的性を生み出します。

更に、目的性の高い魅力ある施設（文化芸術創造拠点、歴史施設）を金山地域の両端に配置するとともに、それらが、現在、商業等が集積している大津通沿道（以下、にぎわい集積軸と称します）と、新たに金山地域のにぎわいの象徴となるシンボル軸を中心とした歩行者動線で結ぶ事によって、地域全体の回遊性を向上させ、金山地域が交流拠点として機能するよう誘導します。



機能配置概念図 (イメージ)

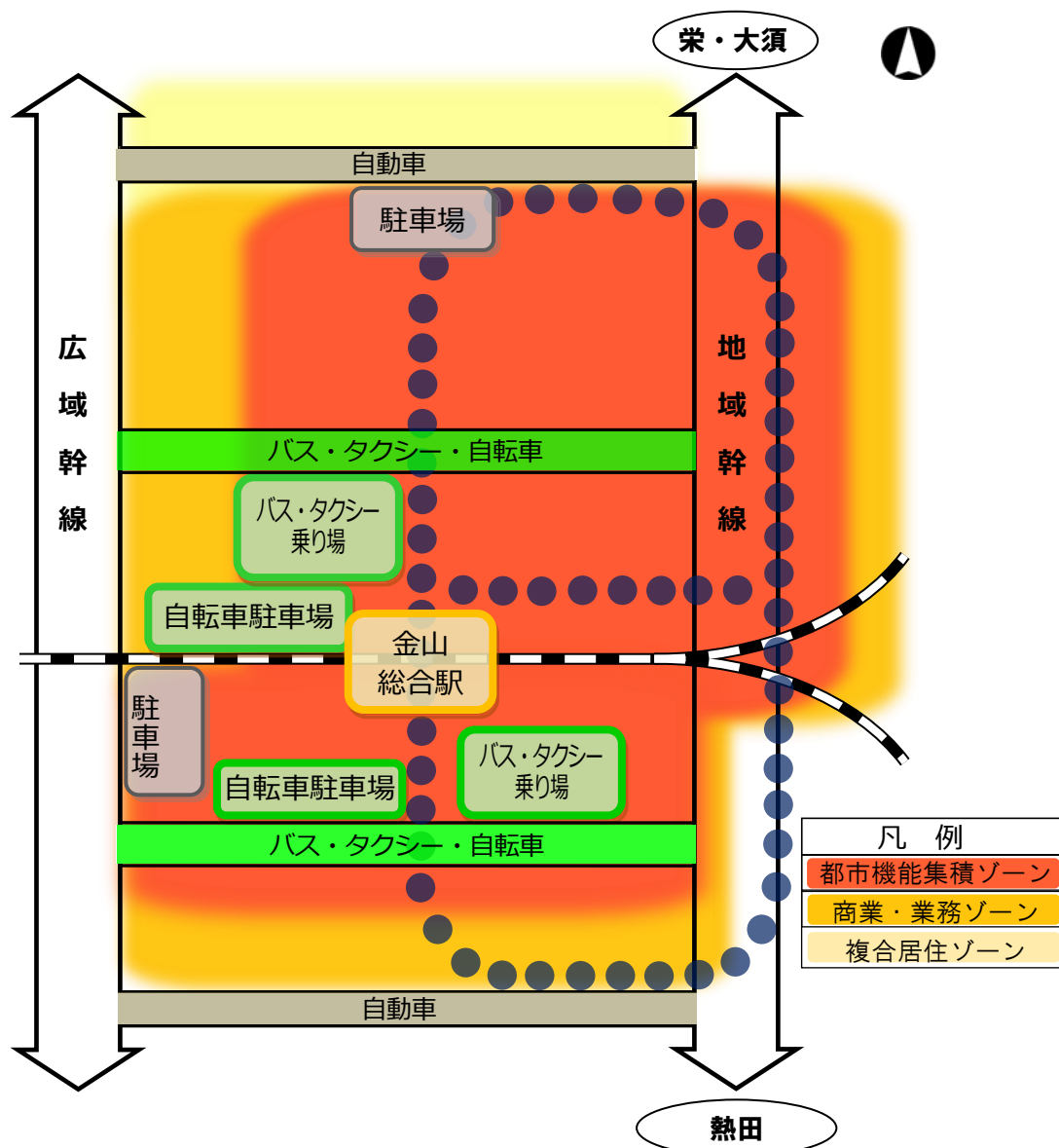


機能配置概念図

|     | 種別                  | 概要                                                               |
|-----|---------------------|------------------------------------------------------------------|
| ゾーン | 都市機能集積ゾーン           | 今後行政が中心となって文化・芸術やオープンスペースなどの都市機能を集積するとともに、民間事業者によるにぎわいを集積していくゾーン |
|     | 商業・業務ゾーン            | 幹線道路沿いや駅周辺の立地を活かして、商業施設や業務施設などの立地をはかるゾーン                         |
|     | 複合居住ゾーン             | 高層の共同住宅とともに商業・業務などを含めた複合的な利用をはかるゾーン                              |
| 回遊性 | シンボル軸<br>●●●●●●●●   | 新たな歩行者メインストリートとして、文化芸術創造拠点から金山総合駅を通り歴史施設までを結ぶ軸                   |
|     | にぎわい集積軸<br>●●●●●●●● | 現在、商業等が集積している大津通沿道                                               |

## (2)交通施設配置イメージ

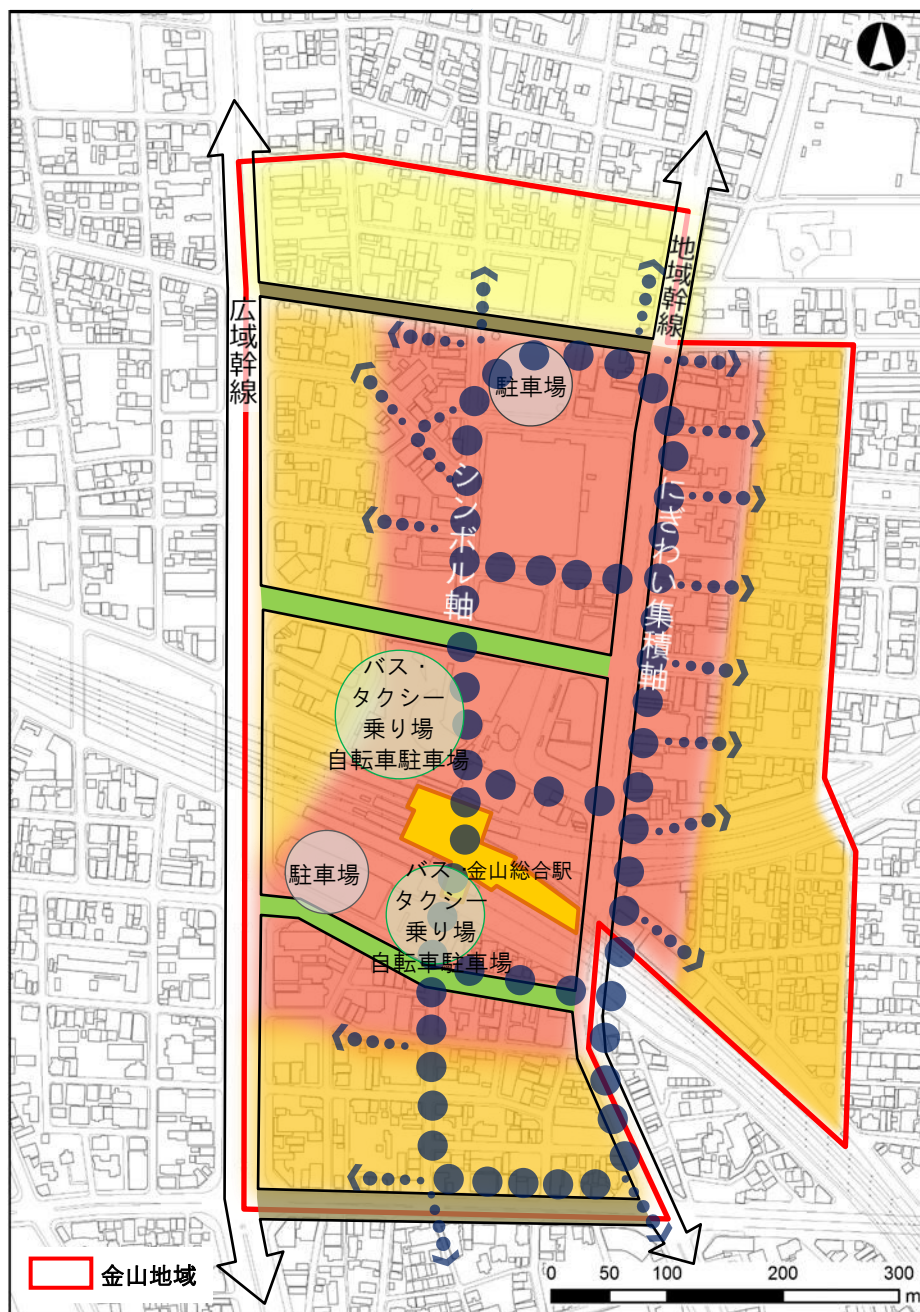
駅直近に公共交通等（バス・タクシー・自転車）施設を配置し、これまで通り交通結節点機能を確保します。その他の自動車動線を主に地域の外縁に配置する事で、歩行者の回遊性の向上をはかります。



交通施設配置概念図（イメージ）

| 種別          | 凡例      | 概要                                                                               |
|-------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 歩行者         | ● ● ● ● | 自動車動線を主に地域外縁に配置する事で、地域内の歩行者の回遊性向上をはかる。                                           |
| 車両          | ↔       | 南北は栄・大須や熱田など隣接する地域を結ぶ地域幹線と、より広範な移動を結ぶ広域幹線を設定する。東西は、「バス・タクシー・自転車」と「自動車」の種別で再分類する。 |
| バス・タクシー・自転車 |         | 駅直近に乗り場や自転車駐車場を配置し、鉄道からの乗り換え利便性を高める。                                             |
| 自動車         |         | 地域の外縁に位置する幹線道路に主な動線を設定する。                                                        |

地域内にシンボル軸とにぎわい集積軸に沿った動線に加えて、両軸との間を相互に行き交う動線を生み出し、その動線に沿った位置に施設等を配置する事で歩行者の回遊性を高めます。また、こうした主な動線から周囲へとにじみだす事で、地域全体に回遊性が広がるようにします。



交通施設配置概念図

| 種別          | 凡例      | 種別        | 凡例 |
|-------------|---------|-----------|----|
| 歩行者         | ● ● ● ● | 都市機能集積ゾーン |    |
| 車両          | ↔       | 商業・業務ゾーン  |    |
| バス・タクシー・自転車 |         | 複合居住ゾーン   |    |
| 自動車         |         |           |    |

### (3)土地利用イメージ

#### ①現在

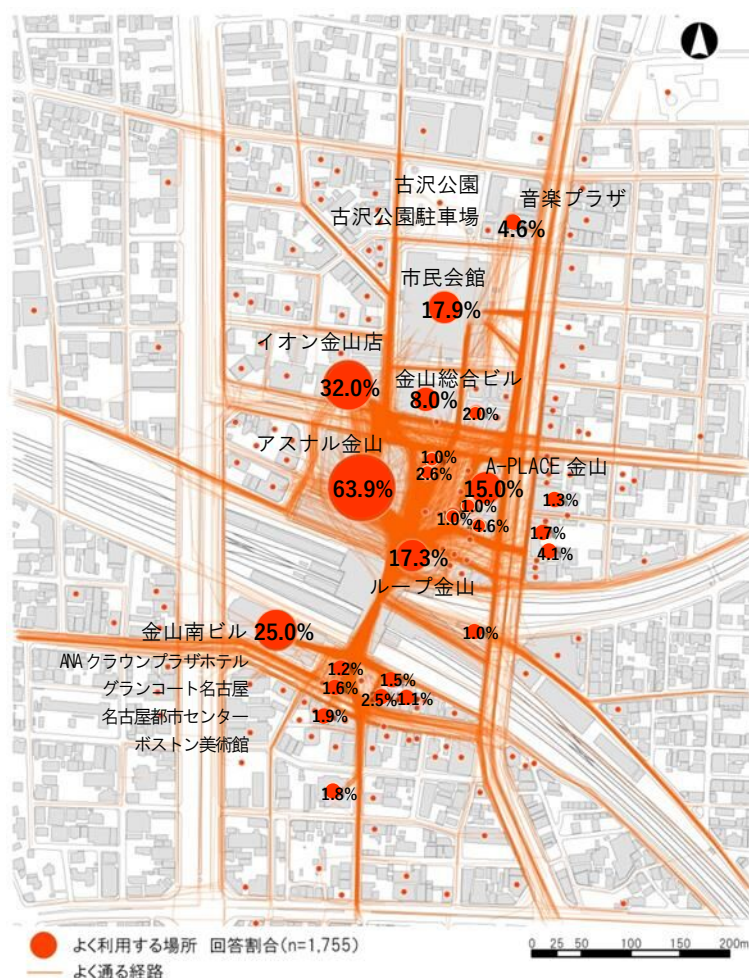
現在の土地利用は、駅を中心に南側には1999（平成11）年に金山南ビル、北側には2005（平成17）年にアスナル金山が完成し、金山地域のにぎわいの中心を担っています。

また、市民会館は利用率が約90%と、市内の貴重なホールの一つとして、機能していますが、その利用客の多くは地下の通路を利用しているため、金山地域の回遊性の向上には貢献しにくい状況となっています。

金山地域でよく利用する施設・場所、よく通る経路を聞いたアンケート調査結果でも、限られた施設に利用が偏っていることが分かっています。

このように、現在では以前より多数の来街者がいるものの、その行動範囲は限られた傾向にあります。しかし、一定の来街者は既に存在していることから、地域全体の回遊性を高める仕組みを構築することで、地域としてのにぎわいをより一層高めることが可能となります。

金山地域（金山駅や駅周辺）でよく利用する施設・場所、よく通る経路





現況図

## ②将来

金山地域全体のにぎわいを向上させるため、シンボル軸を中心に新たな都市機能を配置していきます。

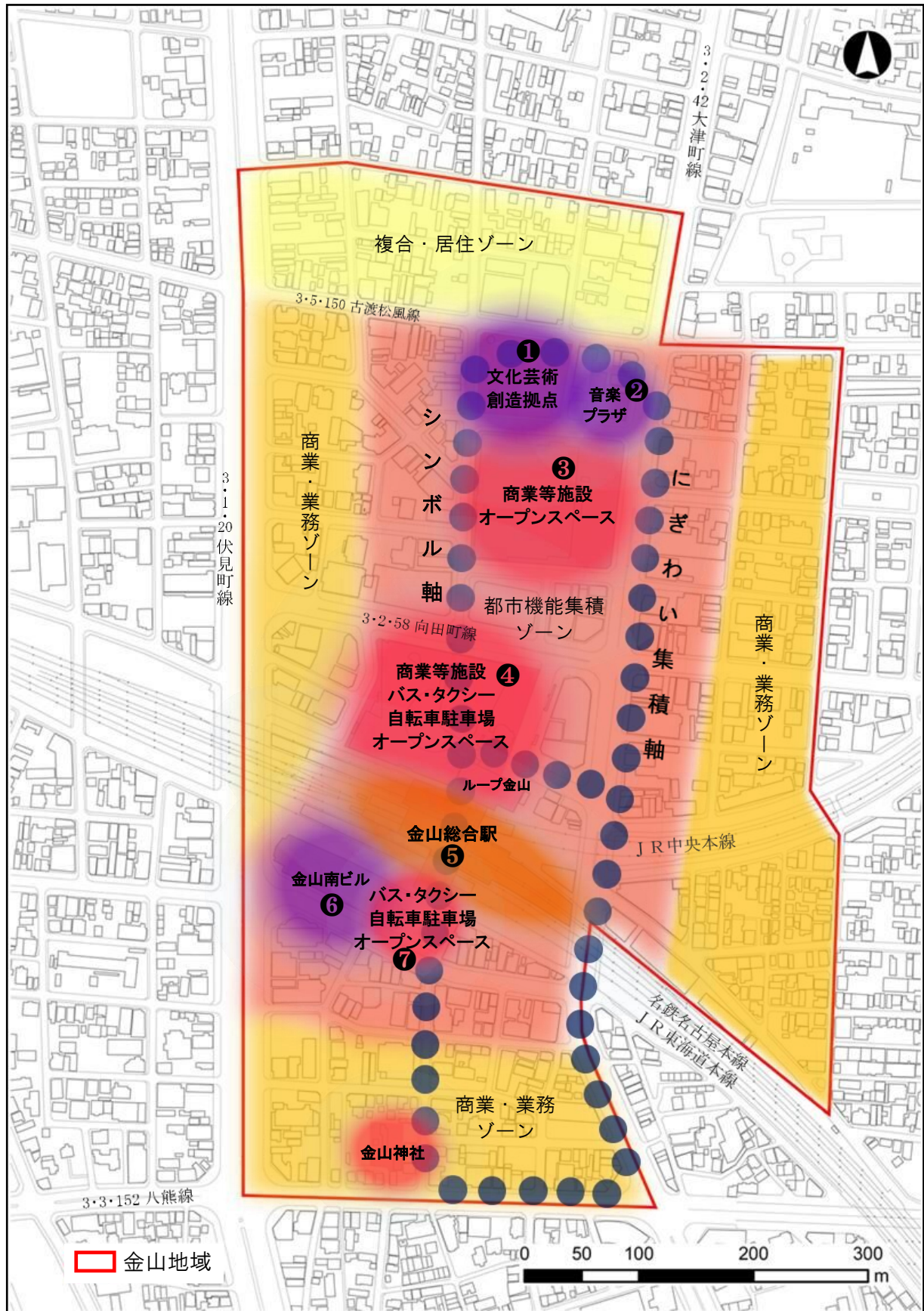
駅の北側の、現在、アスナル金山がある街区には、これまで通り商業施設、バスターミナル、タクシー乗り場、自転車駐車を配置するとともに、防災機能と緑豊かなうおい空間を兼ね備えた、これまでより広いオープンスペースを配置し、新たな交流拠点にふさわしい形態を本格整備していきます。

一方、現在、古沢公園となっている街区には、文化・芸術拠点であり、金山地域の集客施設の一つである市民会館を配置し、これまで通り地域のにぎわいに貢献するだけでなく、その利用者には地上を多く歩いてもらい、これまで以上に地域の回遊性の向上に資するものとしていきます。

また、現在、市民会館がある街区には、古沢公園の代替となる公園を配置するとともに、金山地域のにぎわいの象徴であるシンボル軸を意識した商業施設を誘導します。シンボル軸は、市民会館の利用者も多数利用することから、敷地内も含め広幅員、高品質の歩行者空間を整備していきます。



シンボル軸のイメージ



将来イメージ

今後事業計画等を調整していく過程で、変更となる場合があります。

## (4)スケジュール

### ①東京オリンピック開催までの施策展開

構想に基づき、まずは、金山地域の3つの街区の市有地を活用した連鎖的な開発が、効果的かつ円滑に進むよう、都市計画・都市再生制度や国の支援措置の活用などを取り入れた官民連携の事業スキームを検討します。

そして、古沢公園街区においては、施設や設備の老朽化が問題となりつつある市民会館の機能更新に向け、具体的な機能検討、事業計画の策定に取り組んでいきます。

一方、アンケート調査でも高い関心のあった防災関連については、エリア防災計画等の作成に着手し、名古屋市では、名古屋駅に次いで2つ目となる帰宅困難者対策に関する計画を作成していきます。

### ②リニア中央新幹線開通までの施策展開

金山地域が現在持っている、ホール機能、にぎわい機能、うるおい機能の継続性に配慮した開発を進めていくために、古沢公園街区に引き続き、市民会館街区、最後のアスナル金山街区の段階的な開発に向けた調整をはかっていきます。

また、作成したエリア防災計画等に基づき、安全確保施設の確保を進めるとともに、避難訓練の実施などにより金山地域の防災力の向上をはかり、新たな課題となっていた防災面を強化していきます。

### ③リニア中央新幹線開通以降の施策展開

市民会館街区の開発では、商業等施設の誘導などにより都市機能の再編・集積を行うとともに、古沢公園が有していた身近な公園である街区公園としての機能を確保します。また、アスナル金山街区の開発では、駅の北側に広いオープンスペースを設置することで、これまでより豊かな緑の空間の形成を進めていきます。

更に、これらの開発にあわせ、乗り継ぎ利便性向上のためのサインの増設、情報発信の強化を行っていきます。

これは、リニア中央新幹線が開通した名古屋駅地域との相乗効果を狙うとともに、民間事業者による開発や地域主体のまちづくりにより、金山地域のブランド力を更に強化することで、名駅、栄とともに金山地域のポテンシャルを高め、名古屋の都市魅力向上につなげていくものです。

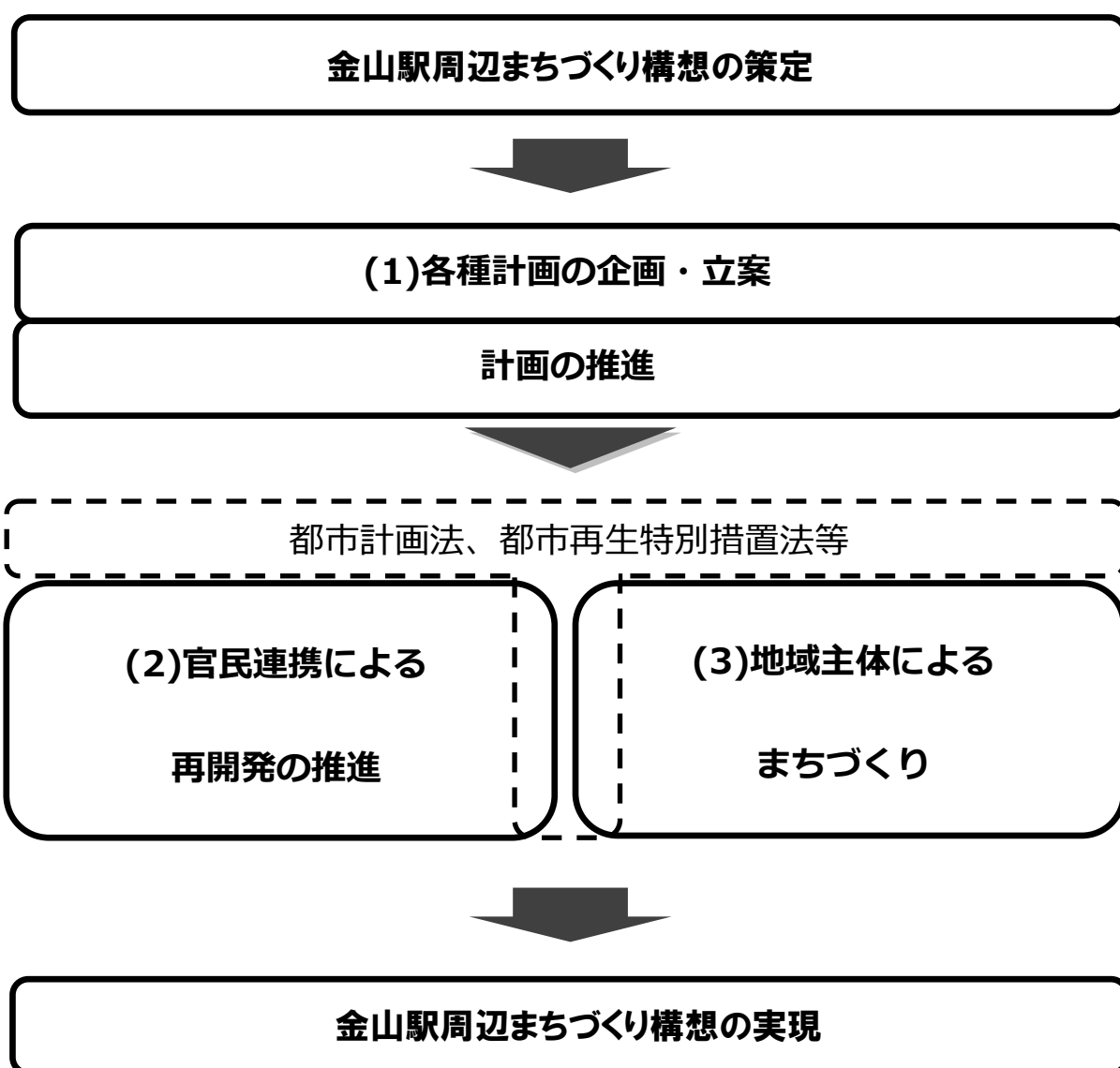
| 基本方針                 |                | 施策展開                                                                      |  | 主な実施主体                                                |
|----------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------|--|-------------------------------------------------------|
| 継承・発展<br>にぎわいとうるおいの  | 都市機能の集積        | 機能検討 → 事業計画策定 → 施設整備 → 供用 ①<br>官民連携の事業スチーム検討 → 施設整備 → 供用 ③<br>施設整備 → 供用 ④ |  | 民間事業者<br>住宅都市局<br>観光文化交流局                             |
|                      | 商業機能等の再編       | 施設整備 → 供用 ③<br>施設整備 → 供用 ④                                                |  | 民間事業者<br>住宅都市局<br>緑政土木局                               |
|                      | 金山地域内外の回遊性の向上  | 情報内容の検討 → 情報発信 ⑤ → 強化 ④<br>歩行者ネットワークの確保 ①                                 |  | 民間事業者<br>住宅都市局<br>観光文化交流局                             |
| 文化芸術や創造拠点等の<br>集客性向上 | 市民会館の機能更新      | 機能検討 → 事業計画策定 → 施設整備 → 供用 ①                                               |  | 民間事業者<br>観光文化交流局                                      |
|                      | まちかどからの文化芸術の発信 | 特定エリアでの演奏 → 駅前での演奏 → 地域全体での演奏 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦                                 |  | 観光文化交流局                                               |
|                      | 金山南ビルの活用       | 今後について検討 ⑥                                                                |  | 観光文化交流局                                               |
| 地域防災力の強化             | 安全確保施設の充実      | 計画検討 → エリア防災計画等策定 → 計画実施                                                  |  | 民間事業者<br>住宅都市局<br>防災危機管理局<br>中区役所<br>熱田区役所            |
|                      | 防災意識の向上        | 避難訓練 → エリア防災計画等策定 → 計画実施                                                  |  | 民間事業者<br>住宅都市局<br>防災危機管理局<br>中区役所<br>熱田区役所            |
|                      | 広域避難場所の活用      | あり方検討                                                                     |  | 防災危機管理局                                               |
| 交通結節点の機能強化           | 乗り継ぎ利便性の確保     | 動線計画等の検討 ④ ⑤ ⑦ → サインの更新 ④ ⑤ ⑦ → 増設 ④                                      |  | 住宅都市局<br>交通局                                          |
|                      | 情報発信機能の充実      | 情報内容の検討 → 情報発信 ⑤ → 強化 ④<br>提供方法の検討 → 計画策定 → 防災情報の提供                       |  | 民間事業者<br>防災危機管理局<br>中区役所<br>熱田区役所<br>住宅都市局<br>観光文化交流局 |
|                      | 来街者向けサービスの提供   | サービス内容の検討 ④ ⑤ → サービスの提供 ⑤ → 強化 ④                                          |  | 民間事業者<br>住宅都市局<br>観光文化交流局                             |

表中の番号は P. 60 図中の番号と対応しています。

## 1 2. 構想実現に向けて

構想が策定された後には、具体的な開発に関する事業計画や、エリア防災計画等が企画・立案され、その計画に基づき事業が推進していきます。その際、行政だけでなく、地域住民等の多様な主体が関わり合うことが必要不可欠であり、構想実現のためには、官民連携による再開発の推進や地域主体によるまちづくりが重要となってきます。

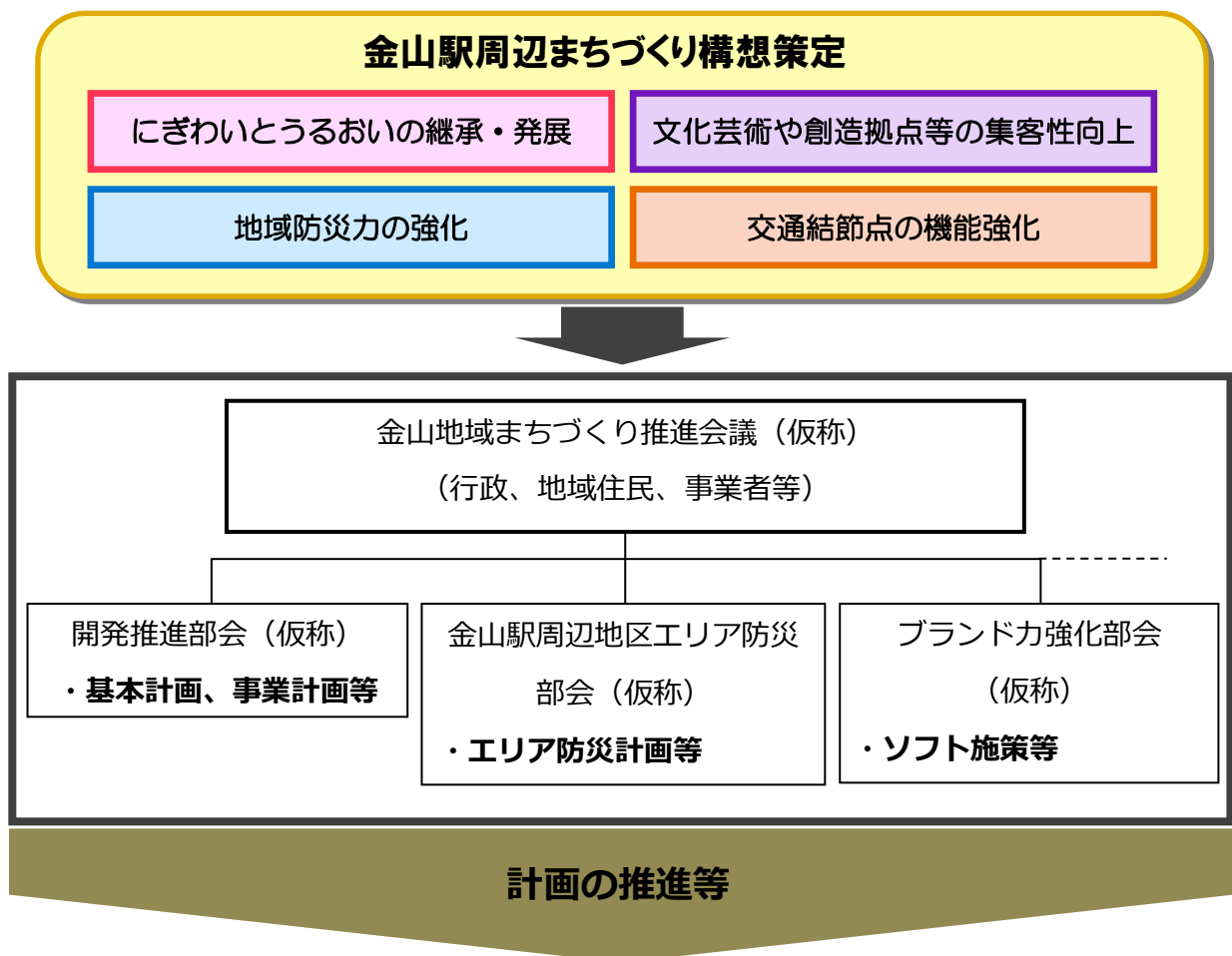
こうした官民連携による事業を効果的かつ円滑に推進するために、都市計画法、都市再生特別措置の枠組みなどを活用した事業スキームの検討を進めます。



## (1)各種計画の企画・立案

構想の施策を推進していくために、金山地域の住民や事業者、行政が一体となった「金山地域まちづくり推進会議（仮称）」を設立し、構想の施策推進に関する各種計画を企画・立案して、計画を推進していきます。

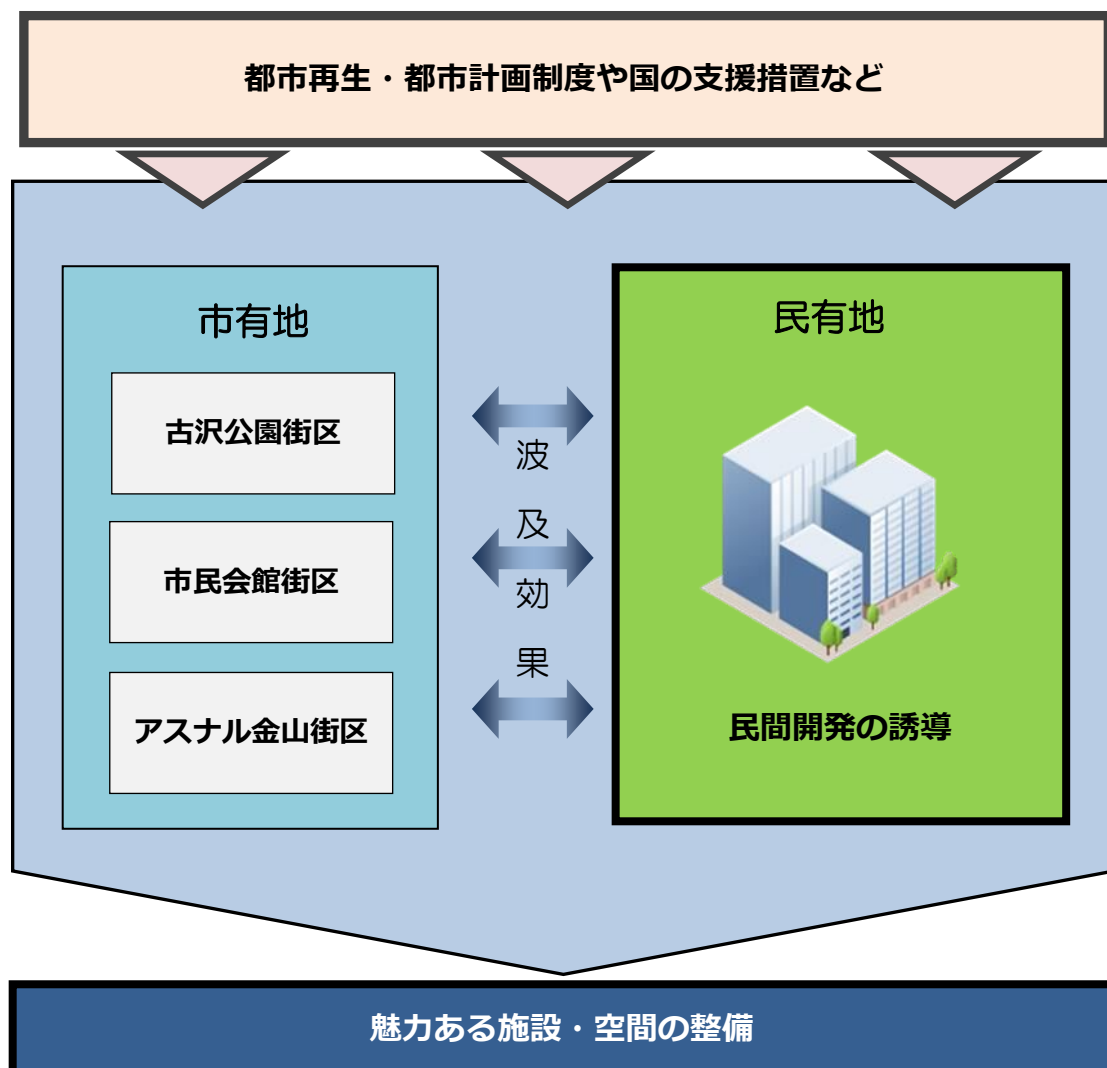
内容が多岐に渡る事が想定されるため、それぞれの専門部会等を設置する事で開発に関しては開発推進部会（仮称）において基本計画、事業計画等の策定について、防災に関しては、金山駅周辺地区エリア防災計画部会（仮称）においてエリア防災計画等の作成について議論を進めます。



## (2)官民連携による再開発の推進

金山地域の開発にあたっては、古沢公園街区、市民会館街区、アスナル金山街区の市有地の開発を核としており、これらは、行政が先導的・主体的に関わっていくこととなりますが、民間の活力や資金を活用し、官民連携によって推進していきます。

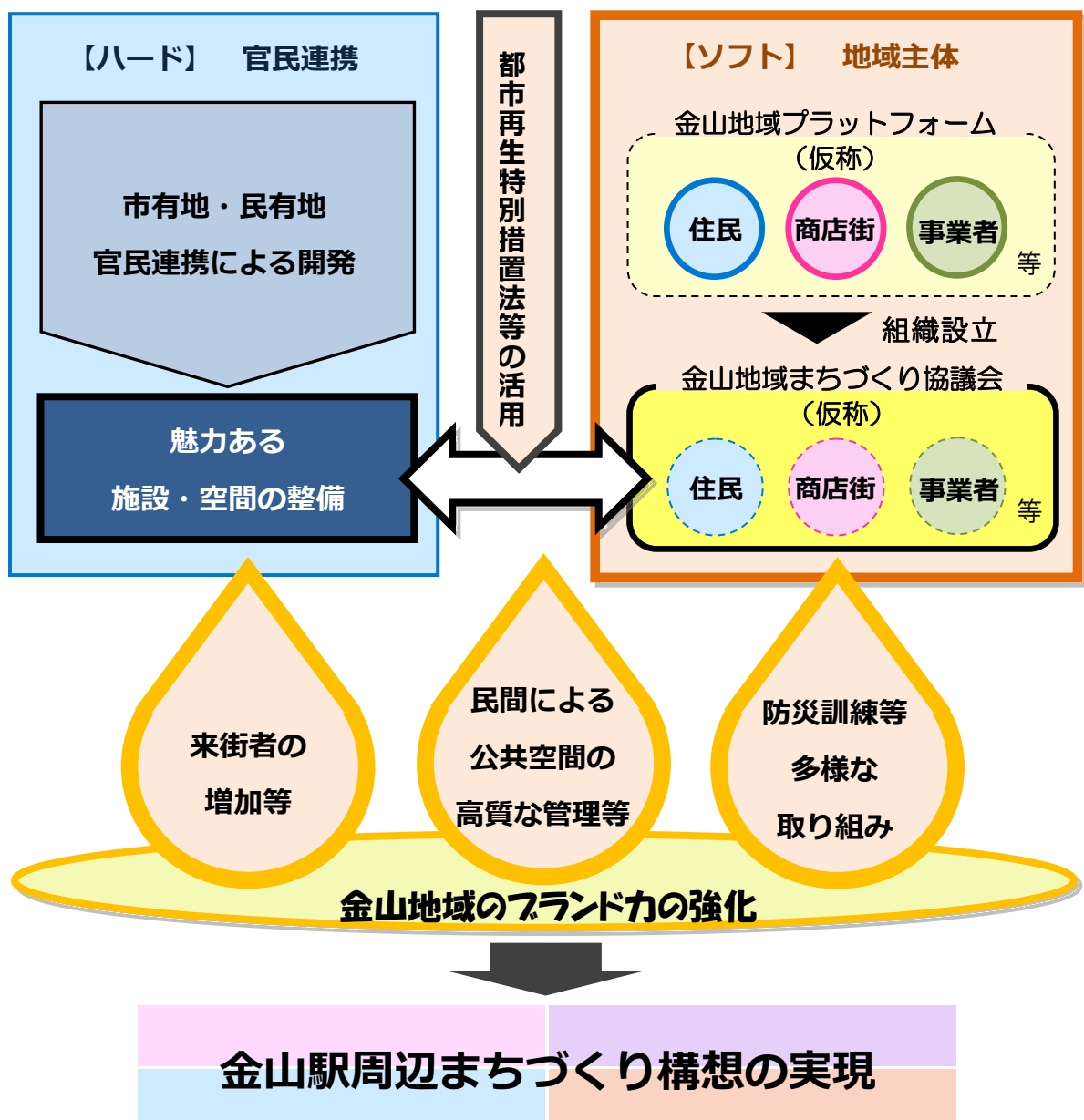
また、これらの3街区以外も含めた全域について、ポテンシャルを最大限に引き出したまちづくりを進めていくために、都市計画・都市再生制度や国の支援措置の活用を検討する事で、民間開発をより積極的に誘導し、地域内に魅力的な施設・空間を整備していきます。



### (3)地域主体によるまちづくり

今後のまちづくりでは、開発によるハード整備によって金山地域の一定の機能や魅力の向上をはかることはできますが、他地域にはない金山地域の強みを活かし、金山地域のブランド力を更に強化し、持続していくためには、それらハード整備とあわせて、ソフト面の取り組みも含め、都市魅力の向上につながる総合的なまちづくりを持続的に行っていくことが重要です。

そのためには、地域の商店街や事業者、住民など多様な主体が一体となり、連携・協働できるまちづくり協議会等の組織を設立し、防災訓練を始めとする様々な活動に取り組んでいくことが求められます。また、将来的には、都市再生特別措置法に基づく、都市再生整備計画、都市利便増進協定、都市再生推進法人などの枠組みを活用した、公共空間の利活用などによる金山地域のブランド力の強化が重要となってきます。



## 構想が実現すると

構想が実現すると、散りばめられたドキドキ、ワクワクするような多彩なまちの仕掛けが来街者をもてなし、様々な活動・生活が展開されます。そんな金山地域での将来像を、いくつか具体的にイメージしてみました。

### 名古屋市在住 21 歳男性、大学生

最近、金山地域には大きな緑や水のある広場ができた！広場にはランニングコースがあり、いつも通学前に利用してます。

金山駅は利便性が良いので、通勤途中に立ち寄ってジョギングしてる会社員もたくさんいます。シャワールームも完備されているので、運動後にシャワーを浴びてリフレッシュすることだってできます。

休日は、広場に多くの人が集まります。水辺には子どもたちが集まって遊んでいます。広場では様々な催し物が行われています。出店が並ぶ日もあれば、野外フェスが行われる日もあるし、市民会館と連携したイベントが行われる日もあります。今日は野外フェスがあるので、友達と参加してきます！



### 金山在住 70 歳女性、一人娘は結婚し、今は夫婦2人暮らし

朝は夫と散歩が日課。最近、金山駅周辺には広場や緑が増えて、散歩コースの中継地点に広場のベンチがお気に入り。そうそう、お買い物の途中にもよく使っているわね。

午後の予定はお友達と音楽プラザでコーラスの練習をした後、最近行きつけのおしゃれな喫茶店でおしゃべりの時間。おしゃべりの方が本命なの言うまでもないわよね。

金山はどんどん新しいものになっていくけれど、すっきりと見通せない曲がり道、どこかレトロな橋の上からの風景、昔からあるお寺や神社、そんな懐かしさを感じる場所もあるのが金山の魅力。

今度、娘と孫が遊びにきたら一緒に金山のウォーキングコースをまわってみようと思っているの。きっと金山の事が好きになるわ。



**名古屋市在住 19 歳女性、大学生**

最近一緒にお出かけしてないお母さんとオーケストラを聞きに金山へ。早速市民会館で名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏を鑑賞。本格的な演奏がこんなに手軽に聴けるなんてちょっと驚き。

音楽鑑賞の後は駅前のカフェでご飯。パンフレットを見ながら会話も弾む！

いつもと違う文化的な休日は見慣れたお店もなんだか新鮮で楽しい！私もちっと楽器に興味が出てきたかも？！名駅とも栄とも違う、親子で楽しめる街、金山。また一緒に行こうね！って約束したよ。



**東海市在住 32 歳女性、二児の母、栄にある美容室で勤務**

毎朝、名鉄で子供と一緒に出勤。仕事の関係で夜遅くまで働くこともあり、自宅近くの保育園には子供を預けることが難しい。しかし、金山駅の近くには夜遅くまで子供を預ける事が出来る保育園があり、安心して仕事に取り組むことができています。

仕事が終わって、子供たちを迎えに行き帰るついでに晩御飯の材料を求め新しくできたスーパーへ。ここのスーパーは名古屋市内だけでなく他都市から金山地域への便利なアクセスを活かした、産直品が豊富にあり、子供たちの健康にも気を使っている。

最近の金山駅は乗り換えだけでなく、ちょっとした日常の生活で利用できるものがあり、とても便利！





### 豊橋市在住 29 歳男性、クリエイティブ系のオフィスに勤務

僕の職場はとても快適で便利。駅に隣接するオフィスビルにあるのですが、オフィスのあるビルや周りには、いろんな店や施設が揃っていて、買い物も食事も困ることがまずない。

仕事では、海外出張や東京出張も多いのですが、金山駅は中部国際空港にも名駅にもすぐ行けて助かってます。特に最近開通したリニアは名駅での乗換えもスムーズで、なんと品川まで乗換え時間入れても約 1 時間という近さ（自宅からとほぼ同じというのが悔しいですが・・・）。お陰で日帰り出張が増えたものの、その便利さを日々実感してます。クリエイティブな仕事をするには、職場に限らず、まちの雰囲気も結構大事なんです。その点、金山はホール、アート系の店も多く、アーティストやパフォーマー、デザイナー  
いった同じクリエイティブ系の人達の出入も多いので、日々刺激があって、インスパイアされっ放しです。その辺の自由さや面白さが名駅や栄との違いでしょうか

### アメリカからの旅行者 49 歳男性

若い頃、仕事で名古屋に来たことがあったが、今回、再び訪れて、外国人がたくさんいたのには驚いたね。私は日本語があまりわからないが、観光案内所で様々な情報を教えてもらえるので、存分に名古屋観光を満喫することができたよ。そうそう、駅周辺で利用できる無料 Wi-fi は、困ったとき、すぐに情報を調べることができてとても便利だったね。

今回は金山駅に隣接した緑や水のある大きな広場でイベントが行われているとインターネットで見て、それに合わせてきたんだ。たくさんの名古屋ならではの食事や、日本らしい文化の体験をすることができてとても満足したよ！来年は、家族と一緒にまた来たいね。絶対に気に入ると思うよ。

